

# 市民活動・協働応援制度補助金交付事業報告会

日時：令和8年6月28日(日)13:00～16:20

(第1部/13:00～14:05 第2部/15:00～16:20)

会場：おだわら市民交流センターUMECO会議室1～3

## 【予定表】

発表順	開始	事業名	団体名等	ページ	
第1部	—	13:00	あいさつ、説明	—	
	1	13:05	野外彫刻メンテナンス事業	おだわらミュージアムプロジェクト／文化政策課	1
	2	13:20	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」	声の万華鏡実行委員会	9
	3	13:35	「あの夏の絵」の公演	エコリック／あの夏の絵小田原公演実行委員会	17
	4	13:50	かもフェス～出会いを楽しむ大忘年度会	かもフェス実行委員会	23

発表順	開始	事業名	団体名等	ページ	
第2部	—	15:00	あいさつ、説明	—	
	5	15:05	福祉キッズフェスタ in 小田原	県西スマイロネット	29
	6	15:20	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原	37
	7	15:35	子どもの教育環境についての啓発活動「ゆめパのじかん」上映会&講演会	トーキョーコーヒー鴨宮withゆりゆりルーム	43
	8	15:50	いじめのない社会へ「いじめストップ! ピンクシャツデー」事業	ピンクシャツデー小田原実行委員会	51
	9	16:05	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業	ピンクリボンぷらすODAWARA女性のがんを考える会/健康づくり課	55

※各開始時刻は予定であり、状況により前後しますのでご注意ください。

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

<p>事業名</p>	<p>野外彫刻メンテナンス事業</p>
<p>団体名</p>	<p>おだわら ミュージアム プロジェクト</p>
<p>事業の内容</p>	<p>上府中公園に設置された、小田原城野外彫刻展入選作品 10 点は 34 年を経過し、汚れや劣化が見られメンテナンスが必要であった。7月5日講師の高嶋直人氏の指導により、石彫作品「エッサ・ホイ・サッサ」の洗浄を行った。市民 15 人が参加しコケや汚れを落としきれなくなった。機材（ケルヒャー）導入により、ブラシでは落ちきれないコケやカビを洗浄できたほか、作業効率が向上した。11月23日講師の戸田祐介氏のガイドで、鑑賞ツアーを実施した。その後作者の太田明甫氏の指導により、作品の色塗りをを行った。幅広い年齢層から 25 人の参加があった。（小学生～80代）作品は当初の色彩を施された状態に復元された。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>参加者の募集については、目にとまりやすいデザインのチラシを作成し、HP掲載のほか、公共施設等に幅広く配架した。その結果、幅広い年齢層の参加をいただいた。洗浄と色塗りの 2 回を実施し、作品は設置当初のカラー石彫の輝きを取り戻した。設置場所は、ちびっこアスレチックの横にあり、作品の復元とともに場全体の楽しさを高める効果をもたらした。また作者自身である専門家の指導の下に、参加者は彫刻作品に触れる貴重な体験ができた。アンケートからは、作業が超楽しかったという声が多数であった。作品を間近に見ることで新しい発見があったり、作者と一緒に作業でき名前由来が聞けたり、当時の話が聞けて時代の流れを感じた、等の声があった。また作家のガイドによる鑑賞ツアーは公園全体の野外彫刻を知るとともに、参加者には野外彫刻展のエピソードなどや、作家による見方なども聞くことができる貴重な体験となった。本事業の実施により野外彫刻に対する理解が深まり、アートがより身近に感じられる機会になった。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>上府中公園には野外彫刻が 10 点あり、他の作品も汚れ、傷や劣化が見られる。残り 9 点の作品についても、状態を見ながらメンテナンスを行いたい。アンケートからも、今後もこのような企画があれば参加したいという声が多くあったので、市民と行政との協働事業として実施していきたい。</p>



様式第13号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
補助金	300,000	小田原市市民活動・協働事業応援制度補助金
自己資金	28,982	おだわらミュージアムプロジェクト自己資金
収入合計	328,982	

2 支出の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
旅費	66,356	ガソリン代 26,676 円、高速代 19,840 円×2
宿泊費	36,900	太田多々様、太田明甫様、3泊
謝礼	60,000	高嶋直人様、太田多々様、太田明甫様、 戸田祐介様
宣伝広告費	26,950	7/5 チラシ、11/23 チラシ制作代
消耗品費	86,310	ケルヒャー、塗料、刷毛、デッキブラシ他
食糧費	6,466	講師昼食代ほか
補助金返還金	46,000	
支出合計	328,982	

令和7年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業

参加者募集

# 野外彫刻

親子での参加 / 鑑賞ツアー  
大歓迎!

## 作品メンテナンス体験

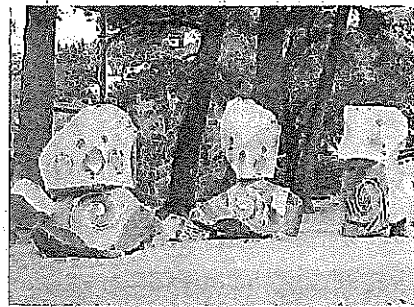
野外彫刻作品「エッサ・ホイ・サッサ」

in 上府中公園

上府中公園に展示されている野外彫刻の鑑賞ツアーと作品のメンテナンスを実施します。  
メンテナンスは、専門家の指導のもと、「エッサ・ホイ・サッサ」の洗浄を行います。



「エッサ・ホイ・サッサ」メンテナンス前



「エッサ・ホイ・サッサ」メンテナンス後

※今回は洗浄のみ実施。秋に色塗りを行う予定です。

2025

# 7月5日(土)

※雨天時は6日(日)に順延

## 13:00~16:00

参加費  
無料

講師 彫刻みまもり隊みつばち 代表 高嶋直人  
R4おだわら市民学校「彫刻にふれる」講師

集合 上府中公園(野球場管理事務所前)小田原市東大友118

対象 小学生～大人 (小学生は保護者同伴)

持ち物 タオル、手袋

申込

6/4(水)～

6/18(水)

小田原市文化政策課に、参加者の氏名、年齢、電話番号を、電話またはメールにてお伝えください。

【電話】

0465-33-1706(平日9時～17時)

【メール】

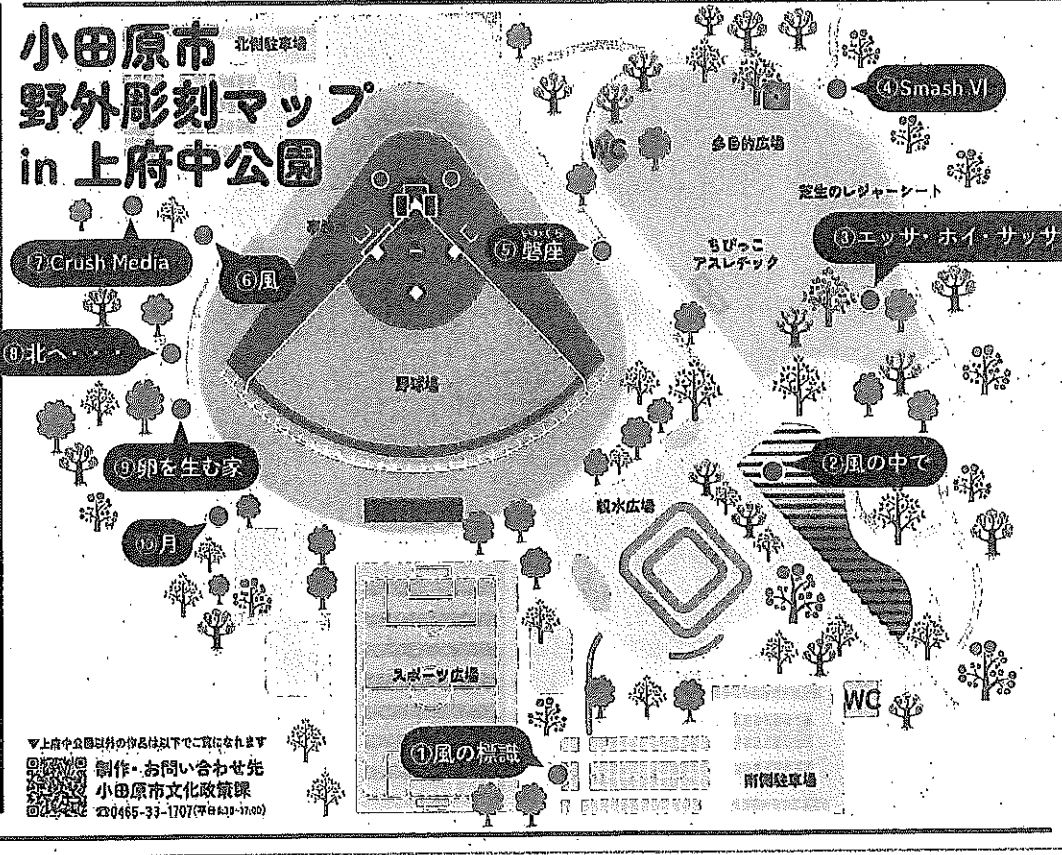
cultural-policy@city.odawara.kanagawa.jp

主催 おだわらミュージアムプロジェクト (お問合せ 090-9824-4084 木下)

<p>①風の標識 作者/本田樹介</p>  <p>重く大地を圧する石を、風に飛ばせて浮上させたい...という作者の思いを表現したものなのではないでしょうか。赤い斑点が美しい作品です。</p>	<p>②風の中で 作者/西野康雄</p>  <p>遠いところから飛んできて羽を休める、鳥のようなたたずまい。風を受けて水平に回転し、はばたくかのようにゆったりと羽が上下します。地の中に設置。</p>	<p>③エッサ・ホイ・サッサ 作者/太田明彦</p>  <p>作者が小田原をイメージして制作した、ほのぼのとした味わいの3体の作品です。</p>	<p>④Smash VI 作者/戸田樹介</p>  <p>ステンレスの円柱を石で叩きつぶしたかのような、迫力ある作品です。平成2年(1990年)当時の時代の勢いを感じます。</p>
<p>⑤鯨座(いわくら) 作者/五十嵐晴夫</p>  <p>公園の風景に溶け込んだ作品です。鯨座(いわくら)とは、巨石で作られた古代の祭礼船のことです。</p>	<p>⑥風 作者/佐光隆行</p>  <p>石の塊を少しずつ削り取り、限界まで薄くして紙のイメージに近づけることで、石の硬さや重さからの解放を作者は目指しました。</p>	<p>⑦Crush Media 作者/鎌月志郎</p>  <p>高さ5メートルもある巨大な作品です。近未来を思わせるような、まぶしく光る銀色の円柱のつべんが、何かの方で押しつぶされたように見えます。</p>	<p>⑧北へ... 作者/二口金一</p>  <p>作者が銀年心の中で埋めてきた心象風景です。北國の人々と自然が表現されています。</p>
<p>⑨卵を生む家 作者/藤原喜孝</p>  <p>「地球=家」から、星の卵、涙の卵、海の家、動物の卵、四季の卵など、さまざまな卵がコロコロと生まれてくるのをイメージした作品です。</p>	<p>⑩月 作者/斎藤史門</p>  <p>巨大な作品に月の形をした穴が一つ開いています。さまざまな方向から見るとイメージが膨らみます。</p>	<h3>小田原城野外彫刻展とは?</h3> <p>市制施行50周年を記念して開催されたときめき小田原まつりの一環として、神奈川県との共催により、平成2年秋に小田原城址公園で開催しました。現在、「小田原城野外彫刻展」の入選作品は、公共施設など市内5ヶ所に設置され、展示公開しています。上府中公園以外には、小田原市役所、上下水道局庁舎、JR御殿場線下曾根駅西口、中央図書館に設置されているので、ぜひ探してみてください!</p>	

## 小田原市 野外彫刻マップ in 上府中公園

北側駐車場



①風の標識  
②風の中で  
③エッサ・ホイ・サッサ  
④Smash VI  
⑤鯨座  
⑥風  
⑦Crush Media  
⑧北へ...  
⑨卵を生む家  
⑩月

野球場  
多目的広場  
芝生のレジャーシート  
もびっこアスレチック  
観水広場  
WC  
北側駐車場

▽上府中公園以外の作品は以下でご覧いただけます  
制作・お問い合わせ先  
小田原市文化政策課  
TEL 0465-33-1707(平日9:30-17:00)

参加者募集

# 野外彫刻

親子での参加  
大歓迎!

鑑賞ツアー

×

## 作品メンテナンス体験

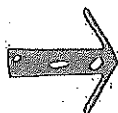
野外彫刻作品「エッサ・ホイ・サッサ」

in 上府中公園

上府中公園に展示されている野外彫刻の鑑賞ツアーと作品のメンテナンスを実施します。  
メンテナンスは、作家の指導のもと、「エッサ・ホイ・サッサ」の塗装を行います。



「エッサ・ホイ・サッサ」メンテナンス前



「エッサ・ホイ・サッサ」メンテナンス後予想

2025

# 11月23日

※雨天時は24日(祝)に順延

## 13:00~16:00

参加費  
無料

講師  
集合  
対象  
持ち物

「エッサ・ホイ・サッサ」作家 太田明甫  
上府中公園(野球場管理事務所前)小田原市東大友113  
小学生~大人(小学生は保護者同伴)  
タオル、手袋

申込

10/6(月)~  
11/19(水)

小田原市文化政策課に、参加者の  
氏名、年齢、電話番号を、電話また  
はメールにてお伝えください。

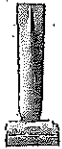
[電話]

0465-33-1706(平日9時~17時)

[メール]

cultural-policy@city.oda  
wara.kanagawa.jp

①風の標識  
作者 / 末田龍介



重く大地を圧する石を、風に暴せて浮上させたい...という作者の思いを表現したものなのでしょうか。赤い斑点が美しい作品です。

②風の中で  
作者 / 西野廣造



遠いところから飛んできて羽を休める、鳥のようなたずまい。風を受けて水平に回転し、はばたくかのようにゆったりと羽が上下します。池の中に設置。

③エッサ・ホイ・サッサ  
作者 / 太田明南



作者が小田原をイメージして制作した、ほのぼのとした味わいの3体の作品です。

④Smash VI  
作者 / 戸田裕介



ステンレスの円柱を石で叩きつぶしたかのような、迫力ある作品です。平成2年(1990年)当時の時代の勢いを感じます。

⑤磐座 (いわくら)  
作者 / 五十嵐晴夫



公園の風景に溶け込んだ作品です。磐座(いわくら)とは、巨石で作られた古代の祭礼跡のことです。

⑥風  
作者 / 佐光庸行



石の塊を少しずつ削り取り、限界まで薄くして紙のイメージに近づけることで、石の硬さや重さからの解放を作者は目指しました。

⑦Crush Media  
作者 / 並月志郎



高さ5メートルもある巨大な作品です。近未来を思わせるような、まぶしく光る銀色の円柱のてっぺんが、何かの力で押しつぶされたように見えます。

⑧北へ...  
作者 / ニロ金一



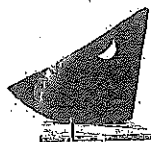
作者が長年心の中で眠っていた心象風景です。北國の人々と自然が表現されています。

⑨卵を生む家  
作者 / 藤原吉志子



「地球=家」から、産の卵、涙の卵、森の卵、海の卵、動物の卵、四季の卵など、さまざまな卵がコロコロと生まれてくるのをイメージした作品です。

⑩月  
作者 / 斎藤史門

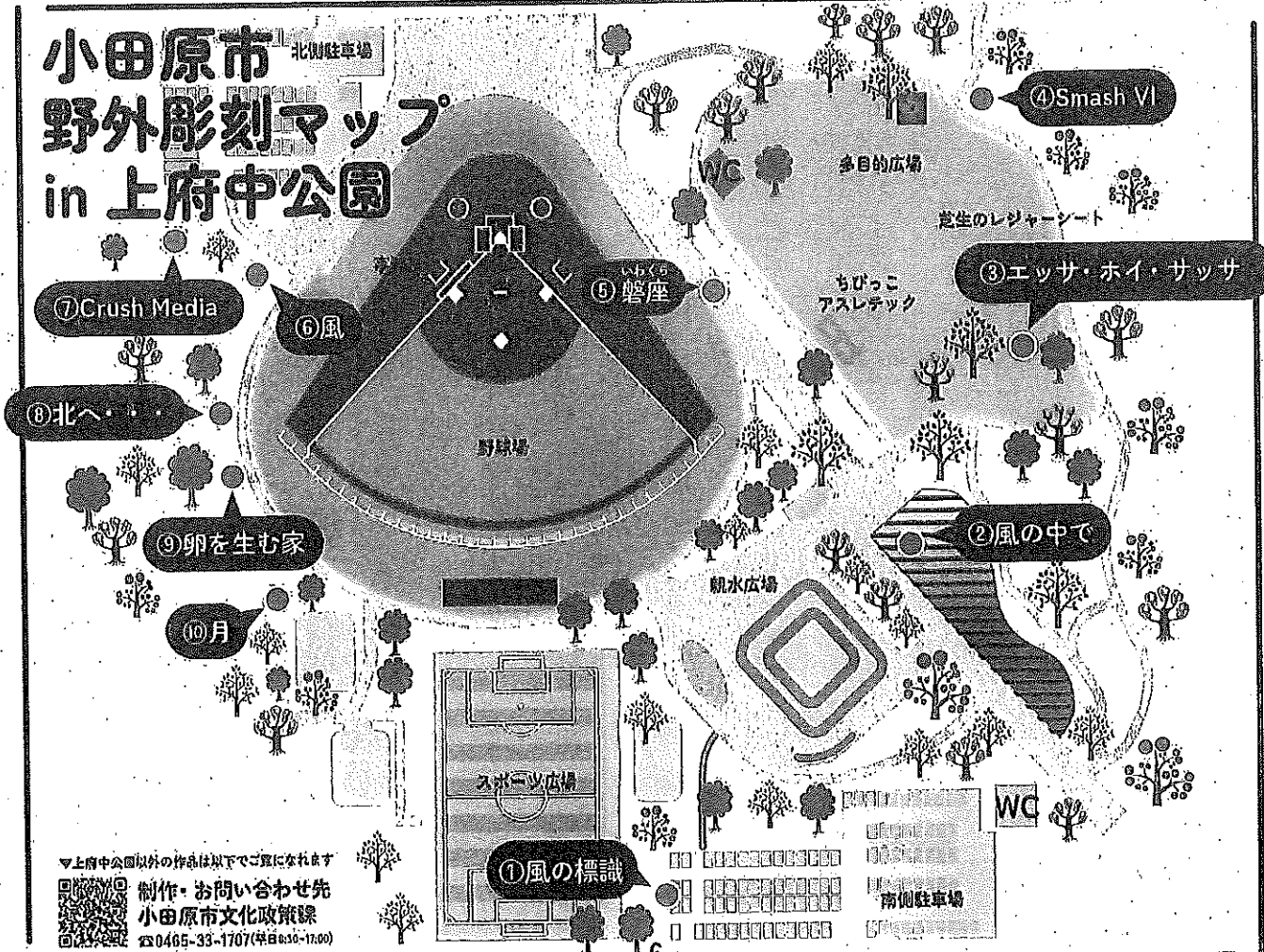


巨大な作品に月の形をした穴が一つ開いています。さまざまな方向から見るたびにイメージが膨らみます。

## 小田原城野外彫刻展とは?

市制施行50周年を記念して開催されたときめき小田原まつりの一環として、神奈川県との共催により、平成2年秋に小田原城址公園で開催しました。現在、「小田原城野外彫刻展」の入選作品は、公共施設など市内5ヶ所に設置され、展示公開しています。上府中公園以外には、小田原市役所、上下水道局庁舎、JR御殿場線下管駅西口、中央図書館に設置されているので、ぜひ探してみてください!

## 小田原市 野外彫刻マップ in 上府中公園



▼上府中公園以外の作品は以下でご覧になれます  
制作・お問い合わせ先  
小田原市文化政策課  
☎0465-33-1707(平日9:30-17:00)

# 野外彫刻メンテナンス 参加者 アンケート

2025年7月5日

本日は、ご参加いただきありがとうございます。

今後の活動の参考にすため、以下の質問にお答えください。

住所 市内 11 市外 3

性別 男 6 女 8

年齢 ~9 2人、10代 1人、30代 1人、40代 3人、50代 1人、60代 3人、80代 2人

1 この事業をなにによって知りましたか

- ・広報おだわら
- ・ホームページ(小田原市・上府中公園)
- ・チラシ 3
- ・さくら連絡網 6
- ・新聞・タウン紙
- ・その他 5

3 上府中公園など市内にある野外彫刻作品のことは知っていましたか

- ・ほとんど知っていた 5
- ・少しは知っていた 6
- ・まったく知らなかった 3

4 おだわらミュージアムプロジェクト(名前・活動)を知っていましたか

- ・知っていた 6
- ・知らなかった 8

◆野外彫刻メンテナンスを体験して、感想を教えてください。

- ・超楽しかった 7
- ・楽しかった 6
- ・まあまあ 1
- ・あまりよくなかった
- ・よくなかった

5 開催時期、時間などはいかがでしたか

- ・このままで良い 7
- ・変えてほしい 5(時期 春秋 2、真夏、曜日 土日、時間帯 午前中、12:30-15:30)

6 講師の説明はよくわかりましたか

- ・よくわかった 8
- ・だいたいわかった 6
- ・あまりよくわからなかった
- ・わからなかった

●印象に残ったこと(ことば) などあれば...

・さいごのあらうところ

・作品の説明が詳しくきけて良かった。メンテナンスは塗装である

・地震であぶないという理由で、全国的に撤去されていることは知らなかった。

・参加者の方がとても楽しかったと感想を言って下さりうれしかったです。

8 今後もこのような企画があれば参加されますか(次回 作品への塗装 11月23日(日)午後予定)

- ・ぜひ参加したい 14
- ・検討したい
- ・参加しない

2 参加の理由(興味関心のポイント) はなんですか

・アート洗いが好きなので！それから、小田原にも興味がありました！！

・なかなかない機会だと思ったので。

・楽しそうだったからです。

・彫刻の清掃ができる事。子供が興味を持ち参加したがっていた為。

・息子にイベントの話をしたら、参加したいと言われたから。

・たのしそだったから。

・野外彫刻のメンテナンス

・彫刻のメンテナンスに興味がある。

・小田原市財産の状態を知りたかった。

・上府中公園の彫刻作品に興味があるから。

・そうじが好きなので。

7 メンテナンス体験で感じたことを自由にお書きください 9 このほか感想やご意見などがありましたら自由にお書きください。(裏面もお使いください)

・きれいになるのはすごく気持ちいいですね！！

・野外彫刻の意味や価値について、改めて考える良いきっかけとなりました。

・同じものを人数ひつたり、びょうどうにほしい。

・楽しかったけど、おわる時間たいがおそいなと思った。

・清掃の前後での違いがすごかった。彫刻についてしる事ができて良かった。

・実際に作品にふれる事ができて嬉しかったです。ただ見るだけより印象に残りました。

・きれいにするといいきもちがすると思います。

・こういう機会が増えると良いと思います。

・大きな作品、高い作品は工夫が必要ですね。

・猛暑の中だったが皆で力を合わせて満足でした。

・作品を大切に残していきたい。

・きれいになると達成感があり、彫刻にも愛着がわくので。

・これからもクリーニングしたいと思いました。

・作品がきれいになって喜んでる気がしました。

・すべての作品をメンテナンスしたいと思いました。

・そうじは作業ではなく、彫刻を楽しむ手段の一つであるというのは、とても素敵な発想だと感じました。

9 このほか感想やご意見などがありましたら自由にお書きください。

・説明が少し長く感じた。子どもにもわかりやすくしてほしい。大人の方が多く、もう少し子どもが参加しやすいように楽しめるイベントにした方が良いかも...? 服がめちゃめちゃ汚れたので事前に教えてほしいかった。(チラシでもっとしようさいを)

・つかれた。アイスがたべたくなかった。(さいごにくぼってほしい！)

・諸君さまいつもどうもありがとうございました。

・無理なく、参加型のイベントを増やすと良いと思います。

・SNSで発信すると認知度があがるかも。

野外彫刻メンテナンス 参加者 アンケート 2025年11月23日

本日は、ご参加いただきありがとうございました。  
今後の活動の参考にすため、以下の質問にお答えください。

住所 市内 10

性別 男 8 女14

年齢 ~9 9人、10代 2人、30代 2人、40代 4人、50代 1人、60代 2人、70代 2人、80代 1人

1 この事業をなにによって知りましたか

- ・広報おだわら 2
- ・ホームページ(小田原市・上府中公園) 1
- ・チラシ 4
- ・さくら連絡網 2
- ・新聞・タウン紙 1
- ・その他 3
- ・ギャラリー-NEW 新九郎 1

3 上府中公園など市内にある野外彫刻作品のことは知っていましたか

- ・ほとんど知っていた 3
- ・少しは知っていた 5
- ・まったく知らなかった

4 おだわらミュージアムプロジェクト(名前・活動)を知っていましたか

- ・知っていた 5
- ・知らなかった 7

◆野外彫刻メンテナンスを体験して、感想を教えてください。

- ・超楽しかった 9
- ・楽しかった 3
- ・まあまあ 1
- ・あまりよくなかった 1
- ・よくなかった

5 開催時期、時間などはいかがでしたか

- ・このままで良い 10
- ・変えてほしい 1 (時期 春 土曜日 時間帯 午前中)

6 講師の説明はよくわかりましたか

- ・よくわかった 9
- ・だいたいわかった 1
- ・あまりよくわからなかった 1
- ・わからなかった

8 今後もこのような企画があれば参加されますか

- ・ぜひ参加したい 9
- ・検討したい 3
- ・参加しない

2 参加の理由(興味関心のポイント) はなんですか

- ・前がたのしかったから(シャワーなど)
- ・色をぬるのが好きだから
- ・娘に孫と行くようすすめられた
- ・製作ペイントが楽しそうだったから
- ・何か月か前に彫刻を洗いがく作業をした
- ・子どもが参加したいと言ったから。前回の清掃も参加したから。
- ・子がやりたいと言ったので参加させて頂きました
- ・ダイナシティの上階にあるアトリエ空襲でお話をうかがったことがあり、清掃には参加できず今回参加さ

せていただきました。

- ・応援補助金視察
- ・楽しそう、思い出にのこる
- ・アートすぎです。

●印象に残ったこと(ことば) などあれば...

- ・エッサ・ホイ・サッサの名前
- ・彫刻の作者に会えたことが軽くて印象的でした。
- ・初めての体験で貴重でした
- ・ぬりぬりがたのしかった
- ・1990年に小田原で彫刻展があったとは知らなかった。良い作者さんばかりで、作品が今も見れて良いと思えました。
- ・30年前に作られたということ
- ・先生のむすめさんがほった字があったこと

7 メンテナンス体験で感じたことを自由にお書きください

- ・シャワーでまたあらいたい
- ・作者さんといっしょにぬれたし名前理由など聞いてよかった
- ・作者さんといっしょにペイントできて、当時のお話もお聞きできて時代の流れを感じた。感動した。
- ・作品や作家さんの考えもさまざまですね
- ・色が付いたら、元の作品みたいになって嬉しかったです。
- ・今後もこのメンテナンスを続けてほしい
- ・たのしい
- ・市内には他にも作品があるとのことで、今後もこのようなイベントがあれば参加したい
- ・かおやエッサ・ホイ・サッサという字がほってあったのにおどろいた。
- ・大変
- ・アートの部に入れたことがとてもうれしかった
- ・作家さんといっしょに作業楽しかった

9 このほか感想やご意見などがありましたら自由にお書きください。(裏面もお使いください)

- ・貴重な体験をありがとうございました。
- ・ありがとうございました。いい思い出になりそうです。
- ・小田原にある野外彫刻についてもっと知りたいと思いました。
- ・作品の題名が知らないのが多かったのでたの作品の名前を知りたい
- ・定期的ボランティアを募集して作業をしたらいいと思います。
- ・思った色と全然ちがったけど、いいのかな?

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」
団体名	声の意万華鏡実行委員会
事業の内容	<p>①事業名「子どもの声の万華鏡～楽しい音読～」の新たな展開</p> <p>-1. 「本の世界へ一緒に行こう～音読発表会～」の開催          ・R7年8月2日第5回 6名・8年3月15日第6回 6名</p> <p>-2. 音読子ども万華鏡(寺子屋)          ・4月7名 5月9名 6月7名 7～8月8名 10月9名          12月9名 1月8名 2月8名 計65名</p> <p>-3. 各種出前講座 ・新玉地区街作り多世代交流 交流会2回 7/12・11/22 実施 ・山王小学校子ども教室 7/16 1回実施</p> <p>②事業名「第10回声の万華鏡～心を揺さぶる感動の舞台～」開催          11/3 小田原三の丸ホール 子ども音読6名 朗読劇7名</p>
事業の成果	<p>1. 事業「子どもの声の万華鏡」の成果</p> <p>①子どもたちが毎回選書し読み合い、特に第10回声の万華鏡三の丸公演では元気な発表で、貴重な体験となった。</p> <p>2. 事業「第10回声の万華鏡」の成果</p> <p>・大人と子ども合わせ18演目90名の参加で、朗読、朗読劇、落語、詩吟、講談、音楽演奏等、これまでにない盛況な舞台となった。約300名の観客の方々から好評頂いた。</p> <p>・様々な声の表現に出会い、出演者も観客の皆さんにも心に届き、良き思い出となった。</p>
今後の事業展開	<p>1. 「子どもの声の万華鏡」は出前公演活動をつづけ、子どもたちの音読参加を呼びかけ、寺子屋活動を継続してを図る。</p> <p>2. 「大人の声の万華鏡」は、三の丸ホールでの公演活動が、諸般の事情により難しく、続けられる方策を検討中である。</p>



第10回声の万華鏡 R7.11.3



第5回子どもの音読発表会 R7.8.2

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1 補助金	200,000	R7年度市民活動・協働応援制度補助金
2. 事業①「子どもの声の万華鏡」参加料	3,000	参加費 3,000
3. 事業②「第10回声の万華鏡」出演料	131,500	出演料 131,500
4. 自己資金	505	
収入合計	335,005	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
1. 事業① 子どもの声の万華鏡 会場使用料	27,000	UMECO会議室3回 17,200 寺子屋会場 5,000 ロッカー使用料 4,800
消耗品費	32,809	事務文具、コピー代等
出張公演材料交通費	4,145	劇衣装材料
印刷製本代	8,965	チラシ 6,430 コピー代 2,435
広報・通信運搬費	20,940	HP維持管理
2. 事業② 第10回声の万華鏡 消耗品費	10,016	記録用紙、文具
謝礼	25,000	朗読演奏 10,000 PC操作 10,000 映像記録 5,000
会議室使用料	12,700	UMECO会議室
会場使用料	161,825	第10回三の丸ホール予約 37,500 スタジオ予約 2,250 ホール使用料 122,075
印刷製本代	29,885	チラシ 2000枚 5,520 プログラム 500枚 9,813 会議他資料コピー代 14,552
通信運搬費	1,720	郵便 220 ガソリン代 1,500
支出合計	335,005	



おんどくこ まんげきょうくらぶ  
音読子ども万華鏡クラブ

2025年6月22日



大長院

声の万華鏡実行委員会

本日のプログラム

10時	1	はじめに	あいさつ	小早川	
10時03分	2	お口の体操 絵本を読もうZ	「寿限無」・「白秋五十音」 紙芝居 つるのおんがえし 「手遊び」	太田・澤地 太田・澤地 宮田	ひろみ 広縁
10時40分	3	休憩	おやつタイム		
10時50分	4	音読	白雪姫	鈴木	ひろみ 広縁
	5	持参本音読	好きな本音読、聴いてね	澤地・三浦	ひろみ 広縁
11時25分	6	おわりに	あいさつ 連絡事項	本多	

※第5回「本の世界へ一箱に行こう」開催日 2025年8月2日(土) 10:00~12:30 UMECO

※「第10回声の万華鏡 三の丸ホール」11月3日(祝日・月) いずれも参加者募集中

\*万華鏡実行委員会ではスタッフ募集中です。子どもたちと音読・朗読を楽しみませんか?  
お問い合わせは本多(090-1127-8401)又は実行委員まで



あつまれ!  
音読の大好きな小中学生

声の万華鏡実行委員会が目指すことは、みんなが自分を好きでいられる社会です。コミュニケーションが希薄な中で、文学に親しみ声を出すことにより、自分の気持ちを相手に伝えられる。大きな声であいさつができると自分に自信がつく。子どもたちに色々なことを体験してもらい明るく楽しい会話ができることを期待しています。

- 募集開始 3月15日(土) から
- 練習場所 大長院(寺町)駐車場あり 電話 090-3427-4587(小早川)  
おだわら市民交流センターUMECO

3. 練習日時

日時	会場(内容)	日時	会場(内容)
4/27	大長院 発声練習 朗読 遊び	5/25	大長院 発声練習 朗読 遊び
6/22	大長院 発声練習 朗読 遊び	7/27	大長院 発声練習 朗読 遊び
8/2	発表会 UMECO 会議室1・2	9/28	未定

- 講師 声の万華鏡実行委員会
- テキスト 藤山 英男著「徹底反復 音読プリント」  
又は、持参本(自分で読みたい本)
- 発表会 2025年8月2日(土) 10:00~12:30  
(UMECO:市民交流センター 会議室1・2)
- プログラム 当日配布

主催 声の万華鏡実行委員会 連絡先 稚野 (090-6303-0861)

後援 小田原市 小田原市教育委員会

参加者お名前	学年(小、中学)	保護者氏名	連絡先

万華鏡実行委員会ではスタッフ募集中です。

お問い合わせは本多(090-1127-8401)

# 第5回子どもの音読発表会



日時 2025年8月2日(土) 10時~12時  
 会場 おだわら市民交流センター会議室1・2  
 主催 声の万華鏡実行委員会



## 今日のプログラム

○初めに あいさつ

順番		学年	題名
1	お口のたい そう みんなで 音読	全員	きたはらはくしゅう ごじゅうおん 詩 わたしと小鳥とすずと
2		小学6年	よくばりすぎたねこ
3		小学2年	おとぎ列車出発進行
4		小学3年	はるかぜをたどって
5	本多 博		ソメコとオニ
6		学生	しらゆきひめ
7		小学4年	たべものやさんしりとり大会
8		小学6年	げばげばげばげばたくん、たん じょうびの巻
9	子供全員		つるのおんがえし(おんどく)
10	全員		詩 生きる

○終わりに まとめとお知らせ

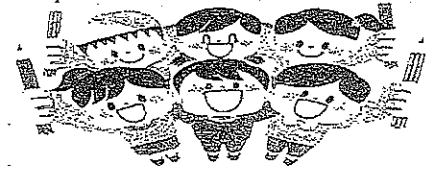
※「第10回声の万華鏡」を2025年11月3日(月・祝日)に行います。  
 会場は三の丸小ホールです。

※万華鏡実行委員ではスタッフを募集しております。

問い合わせ本多 (090-1127-8401)



# あつまれ!!



## 音読の大好きな小中学生

声の万華鏡実行委員会が目指すことは、みんなが自分を好きでいられる社会です。  
 コミュニケーションが希薄な中で、文学に親しみ声を出すことにより、自分の気持ちを  
 相手に伝えられる。大きな声であいさつができると自分に自信がつく。  
 子どもたちに色々な事を体験してもらい明るく楽しい会話ができることを期待しています。

- 募集期間 令和7年9月28日(日)から
- 練習場所 大長院客殿(寺町)駐車場あり 電話 090-3427-4567(小早川)
- 練習日時 毎回10時~11時30分

日時	会場(内容)	日時	会場(内容)
10/26(日)	大長院(発声練習・朗読・他)	11/23(日)	大長院(発声練習・朗読・他)
12/21(日)	大長院(クリスマス会・他)	1/25(日)	大長院(新年会・朗読・他)
2/22(日)	大長院(発声練習・朗読・他)	3/15(日)	UMECO(発表会)

- 講師 声の万華鏡実行委員会
- テキスト 陰山秀男著「徹底反復 音読 プリント」  
澤地明子作「くまのたろうちゃん」自分で読みたい本
- 発表会 **2026年3月15日(日)10:00~12:30**  
(おだわら市民交流センター-UMECO 会議室1・2)



HPはこちら

- プログラム 当日配布
- 申し込み 主催 声の万華鏡実行委員会 連絡先 本多(090-1127-8401)

参加者お名前	学年(小・中)	保護者氏名	連絡先

「声の万華鏡実行委員会」では、一人も取り残さないを目標に活動しています

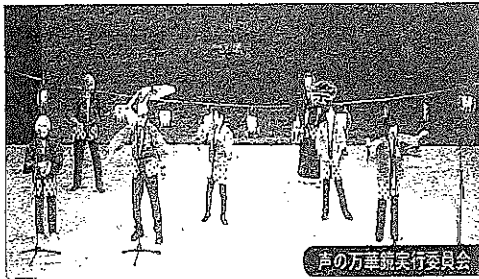
10周年おめでとう

言葉がおどる

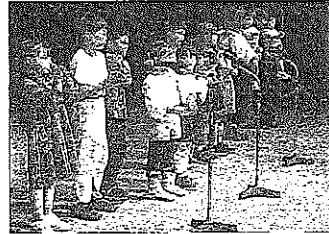


# 第10回 声の万華鏡

特別企画 ポップス わをん(アコースティックユニット)



声の万華鏡実行委員会



13

日時 令和7年11月3日(月祝日)

開場9:30 開演10時~16時

場所 小田原三の丸小ホール

内容 朗読・読み聞かせ・子どもの音読・詩吟  
民話語り・落語・講談・他

主催 声の万華鏡実行委員会

後援 小田原市 小田原市教育委員会

問合せ 事務局090-1127-8401(本多)



ホームページQRコード

## 【第10回声の万華鏡】プログラム

No	時間	演目	出演
	10:00.	はじめの言葉	小早川のぞみ
1		ボイストレーニング 手話で歌いましょう 「虹・ふるさと・翼をください」	サンサンひまわり
2		朗読 シェル・シルヴァスタイン 作 「おおきな木」	こどかん朗読部
3		民話語り 子どもたちの民話語り	さざなみ会キッズ
4		絵本朗読 新美南吉 作 「手袋を買いに」	朗読「征の会」
5	11時頃	絵本の朗読とヴァイオリン演奏 田島征三 作 「ぼくのこえがきこえますか」	素晴らしい絵本を広める会
6		楽しい音読 子どもたちの音読	子どもの声の万華鏡
7		朗読 きむらゆういち 作 「あらしのよるに」	朗読サークル「オレンジ」
	12時頃	昼休み	
8		演奏(ポップス) 特別出演 (アコースティックユニット)	わをん
9	13時頃	語り 二代目市川團十郎丈 作 「外郎売」	外郎売の口上研究会
10		朗読 「頼朝と純海」 ～小道地蔵堂縁起より～	湯河原朗読ボランティア 「筈」
11		楽しい音読 みんなで音読 「ヘンゼルとグレーテル」	子どもの声の万華鏡
12		詩吟 詩吟三題	岳裕流井田長裕会寺町教場
	14時頃	休憩	
13		落語 「死神」	気楽亭小生
14		講談 「四谷怪談」(お岩誕生の巻)	北村敏廣
15		朗読 福田正夫 詩「小田原風景」他	鎌倉朗読会
16	15時頃	朗読 「曾根崎心中」	ラパンの会
17		劇 サザエさん ～賞味期限の巻～	声の万華鏡実行委員会
18		朗読劇 あまきみこ 作 「ちいちゃんのかげおくり」	劇団こゆるぎ座
	16時頃	おわりの言葉	椎野典子

# 第10回 声の万華鏡



## ☆発声練習

- ☆語りと寸劇 ☆朗読劇
- ☆音楽とお話 ☆音読
- ☆朗読 ☆落語 ☆詩吟 ☆講談
- ☆語りとパフォーマンス
- ☆特別出演 ポップス「わをん」  
アコースティックユニット

**月日：令和7年11月3日（月・祝）**  
**会場：山田原三の丸ホール（山ホール）**  
**主催：声の万華鏡実行委員会**  
**後援：山田原市・山田原市教育委員会**

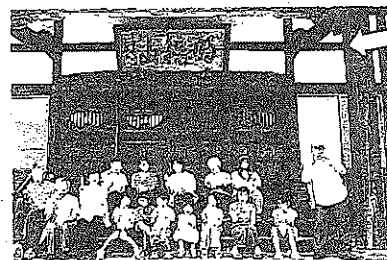


## ごあいさつ

本日は、ご来場いただき、誠に有難うございます。

声の万華鏡は、今回10周年を迎えることが出来ました。これも朗読や民話語り  
その他声の表現者の熱意と、聴いて下さる皆様の温かい声援のおかげです。  
私たちは、声の文化に触れあう機会をみんなで作って、人と人の輪を広げて、  
子どもも大人も一緒になって声を出し合い、元気な小田原の街を目指していま  
す。舞台の様々な声の響きが、皆様の心に届き、良き思い出となりますように。

声の万華鏡実行委員会 委員長 本多 博



子どもの声の万華鏡・寺子屋編

夏の暑い日、アイスを食べてひとやすみ

## 声の万華鏡のあゆみ

年月日名称

- H28 (2016) 10.9 第1回声の万華鏡 UMECO
- H29 (2017) 7.9 第2回声の万華鏡
- H30 (2018) 6.24 第3回声の万華鏡
- H30 (2018) 11.4 君の万華鏡（高校生）
- R1 (2019) 7.15 第4回声の万華鏡
- R3 (2021) 3.22~25 第5回声の万華鏡  
（声の万華鏡文化祭）
- R3 (2021) 10.24 第6回声の万華鏡
- R4 (2022) 4.1 声の万華鏡実行委員会発足
- R4 (2022) 10.16 第7回声の万華鏡三の丸
- R5 (2023) 10.22 第8回声の万華鏡
- R6 (2024) 11.2 第9回声の万華鏡
- R7 (2025) 11.3 第10回 一声の万華鏡 三の丸

## 声の万華鏡実行委員会スタッフ

- 会長 本多 博
- 副会長 三浦善明
- 実行委員 小平川のぞみ  
椎野典子  
山田見弦  
太田雅江  
佐野裕子  
澤地明子

他 ボランティアの皆様

# 第6回子どもの音読発表会



2026年3月15日10時～  
 UMECO第1会議室  
 戸の万華鏡実行委員会

## 本日のプログラム

10時	1	はじめに	あいさつ	本多
	2	みんなで朗読	あいうえおうた	会場の音読 全員
	3		すーべーだい(えほん)	小学3年
	4		ぼー(えほん)	3歳
	5		あいの行列(ろうどく)	小学3年
	6		いぬとかごむかしむかし(朗読)	学生
11時			さようけい	
	7	澤地明子 権野典子 山田見路 本多博	「100万回生きたわこ」	実行委員の 皆さん
	8		「なまけていません」	小学6年
	9		考えることを考え続ける(朗読)	小学6年
	10	全員	金のガキョウ(音読) グリム原作	全員
	11	おわりに	あいさつ	権野



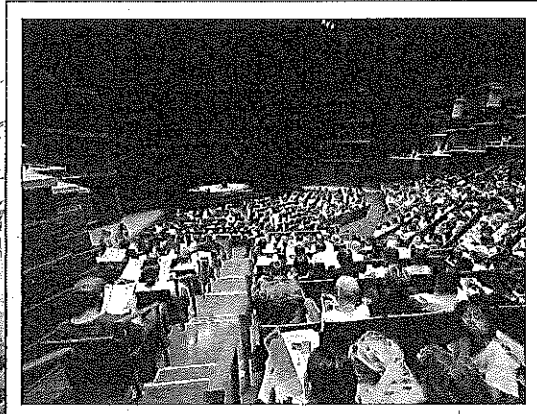
様式第12号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	「あの夏の絵」小田原上演
団体名	エコリック
事業の内容	<p>「あの夏の絵」を青年劇場の力を借り、市民有志 35 人 (12/1 現在) で結成されたあの夏の絵小田原公演実行委員会と連携して令和 7 年 8 月 2 日に小田原三の丸ホールにて 886 人を定員として上演する。</p> <p>大人 400 人集客しないと赤字となるので、そこを上限として集客を図り、残りの席は子ども席としたい。多くの小田原っ子に気軽に見てもらいたいとの観点から小中学生は無料、高校・大学生までは 500 円での開催としたい。また学校教育関係者にも当該演劇を観劇してもらいたいと考えている。</p> <p>更に上演に向けたムーブメントを高めるべくワークショップと関連の講演会を企画する。</p> <p>6月頃 ○小田原イノベーションラボ、市民活動交流センターUMECO 定員 30 名ずつ 参加費無料 演出家福山啓子氏講演会</p> <p>7月頃 ○小田原イノベーションラボ 定員 30 名 (上限) 青年劇場若手俳優による演劇ワークショップ</p> <p>○高校生が描いた原爆の絵展展示 (市民活動交流センターUMECO ホワイエ)</p>
事業の成果	<p>6/22 小田原イノベーションラボ、市民活動交流センターUMECO にて演出家福山啓子氏講演会を午後と夜に実施。それぞれ 30 名の参加で開催した。</p> <p>7/2 18:00-19:30 小田原イノベーションラボにて青年劇場若手俳優による演劇ワークショップを開催。15 名の参加があった。</p> <p>7/19-8/1 まで高校生が描いた原爆の絵の展示を市民活動交流センターUMECO ホワイエにて開催。約 1,000 名の方が見学した。</p> <p>8/213:30-15:40 まで小田原三の丸ホールにて 705 名の参加のもと、あの夏の絵上演を行う。当初は 1 階席のみの使用であったが定員がオーバーし、急遽、2 階席をあけて開催の運びとなった。</p>

今後の事業展開

今後は年度末に向けて①森川聖詩「核なき未来」の講演会②第4の被爆講演会③原発と核、ソーラーシェアリングの問題をいれこんだ「陽なたのファーマーズ」の上演と樋口英明&近藤恵氏をお呼びした対談などを東日本大震災の問題と絡めて啓発するイベント等を行ってまいりたいと考えている。



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
チケット販売	900,000	3,000円×300人(大人)
チケット販売	54,000	500円×108人(大学・高校生)
協賛金	626,361	
補助金	300,000	
収入合計	1,880,361	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
上演料	1,100,000	(消費税込)
車両運搬費	35,000	(トラック)
交通費	46,020	
宿泊費	134,400	劇団員宿泊費。一泊朝食 10,800円×11名 7,800円×2名
食費 昼	21,450	劇団員昼食代 1,650円×13名
夜	21,450	劇団員夜食代 1,650円×13名
宣伝広告費		
チラシ	50,860	約1.96円×26,000枚
ポスター	6,380	31.9円×200枚
チケット	3,040	3.8円×800枚
リーフ	1,320	110円×12冊
当日冊子	7,260	約10.4円×700枚
デザイン料	15,000	チラシ・ポスターデザイン料(青年劇場)
ホール使用料	216,000	三の丸ホール大ホール、控室
付帯設備費	94,400	音響、照明
講演料	85,000	講師料 講師3名(福山氏、津曲氏、藤代氏)
会議室代	3,760	6月講演会、7月ワークショップ
謝礼	39,021	司会者謝礼等
支出合計	1,880,361	

青年劇場

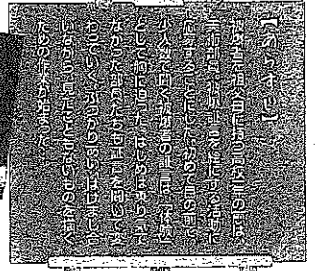
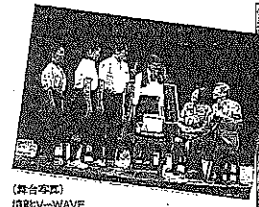
# あの夏の絵

福山啓子 作演出

2015年の初演以来、各地で観客を感動の渦に巻き込み、全国公演中!

「原ばくを絵であらわすなんて、すごいと思いました。  
『平和』とはなんだろ、ということ考えられました。」(12才)  
「戦争をなかったことにするのはなく、ありのままを受け入れ、  
次につないでいく大切さを学べた。」(中学3年生)  
「世代を超えて記憶に伝える作品。今こそ、若者に伝えたい内容でした。」(70代)

被団協の機関紙で、初めて広島市立基町高校創造表現科の生徒による「原爆の絵」を見た時は、「被爆者の描いた絵?」と思いました。それほど迫力に満ちた絵でした。どうしてこのような絵が描けるのか、というのが取材を始めるきっかけでした。その後現地へ何度も何回か行って、半年をかけて被爆者から被爆前後の経験とその後の人生まで丹念に話を聞き、現場へ足を運び、資料を調べ、繰り返し被爆者と話し合い、時には涙しながら、悪夢を見ながら、「被爆者の手になって絵を描こう」と真摯に向き合う高校生たちの姿でした。彼らは「原爆の怖さ」でなく「原爆の記憶が消えていくことの怖さ」を心に刻みながら絵を描いていたのです。記憶を語り継ぐ一その輪の中に、皆様とともに加われたらと願っています。／福山啓子



被爆から80年となるこの一年間、被爆の実相というのはどんなものか、目で見たり、耳で聞いたり、いろんなものをやっていたらよいと思います。私は13歳で被爆し、激動の時代を生きてきました。被爆者はやがていなくなります。イベントを一回やって終わりというのではなく、ずっと続く運動にしていかなくてはなりません。そういう意味ではこの舞台はもっていい、素晴らしい舞台です。ぜひ、見てください。見ないと損です。大成功を祈ります。  
日本原水爆被害者団体協議会 代表委員 田中照巳

青年劇場  
〒160-0022東京都新宿区新宿2-9-20 四ツ川ビル4F  
TEL 03(3352)6922 FAX 03(3352)9418  
info@seinengekijo.co.jp  
https://www.seinengekijo.co.jp

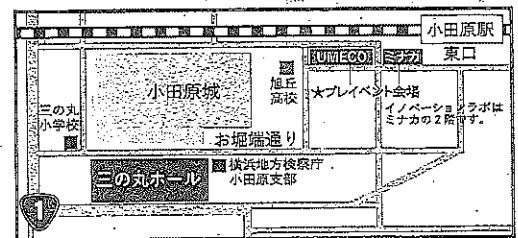
## 青年劇場「あの夏の絵」小田原上演

小田原市市民活動応援補助金交付事業 / 神奈川文化プログラム認証事業

後援：神奈川県、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、南足柄市教育委員会、中井町教育委員会、大井町教育委員会、松田町教育委員会、山北町教育委員会、開成町教育委員会、箱根町教育委員会、真鶴町教育委員会、湯河原町教育委員会

協賛：神奈川土建西相支部、湘南生活クラブ生協城下町 commons、合同会社小田原かなごてファーム、ボランティアグループ・ウェイダース、鴨宮歯科医院

主催：「あの夏の絵」小田原上演実行委員会  
お問い合わせ：090-7209-0100 (大久保)  
※小・中学生の無料チケットのご希望もこちらへご連絡ください。

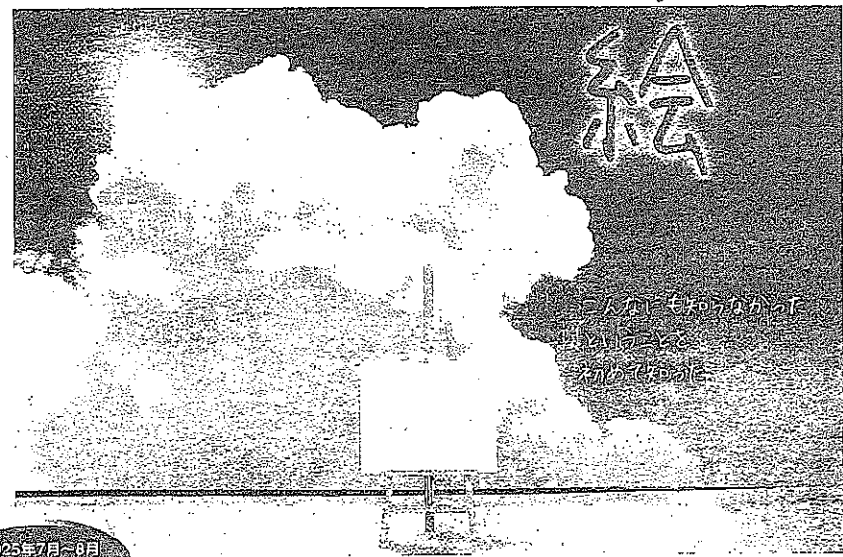


被爆から80年  
日本被団協ノーベル平和賞受賞記念公演

# あの夏の絵

福山啓子 作演出

「ロジックを忘れなさい」  
記憶を伝えるために語り始めた被爆者たち  
それを受けて、語り継ぐ者たち  
高校生たちの2025年夏の物語。



神奈川文化プログラム認証事業 / 小田原市市民活動応援補助金交付事業

2025年7月~8月 首都圏公演

# 2025年8月2日(土)

## 13:30開演 (13:00開場-15:50終了予定、上演時間約2時間) 小田原三の丸ホール・大ホール

小田原市本町1丁目7-50 (小田原駅より徒歩約13分)  
※駐車場はありません。周辺のコインパーキングをご利用ください。  
主催：「あの夏の絵」小田原上演実行委員会  
お問い合わせ：090-7209-0100 (大久保)  
※小・中学生の無料チケットのご希望もこちらへ

前売り券 一般:3,000円 / 大学・高校生:500円 / 小・中学生:無料  
当日券 一般:3,500円 / 大学・高校生:500円 / 小・中学生:無料  
(全席自由・税込) ※未就学児の入場はお断りします。

<プレイガイド> (一般、大学・高校生のみ取り扱い)  
小田原三の丸ホール窓口、三の丸ホールWEBチケット <https://p-ticket.ljo/odawara>、  
南足柄市文化会館、ハルネ小田原 街かど案内所 (窓口販売のみ)、平井書店、  
ミクニ書店、鴨宮歯科医院、農家カフェSiesta

広島の高校生が被爆者の体験を元に描いた「原爆の絵」展  
7月19日(土)~8月1日(金) おだわら市民交流センターUMECO・ホワイエ  
演出家・福山啓子さんとのトークセッション  
6月22日(日) ①14:00~18:00  
おだわらイノベーションラボ(ミナカ2階):定員30名  
②18:30~20:30  
おだわら市民交流センターUMECO:会場5、6:定員48名

# あの夏の絵

小田原上演

2025年8月2日(土) 小田原三の丸ホール・大ホール

福山啓子=作・演出

美術=石井隆司 照明=河崎浩 運曲=堀沢広幸 音響効果=石井隆 衣裳=宮岡増枝  
宣伝美術=増田絵里 方言指導=増田祐子 演出助手=清原達之 舞台監督=松崎秀幸 製作=広瀬公乃



上演中は連続演劇「スマートフォン」/スマートフォンで  
音や光の仕掛けの音楽・電演から感動を味わってください。

「あの夏の絵」小田原上演実行委員会事務局  
エコリック/小田原かなごてファーム代表 小田田大和

「あの夏の絵」は、被爆者・現代の高校生が共同してその惨状を絵にした演劇を舞台、その中で自分等として高校生が成長していく姿を描いています。映画ではなく、生身の俳優が演ずる舞台により、その思いを伝えて、あらためて原爆・核問題を語り、その心を語り、平和への願いを込めています。本日は、被爆者もぜひぜひ観てほしいです。

「あの夏の絵」小田原上演実行委員会代表 大久保徹夫

本年は戦後・被爆から八十年です。また日本被団協がノーベル平和賞を受賞して初めての八月を迎えています。改めて、恒久平和、核なき未来への願いを、次代を担う若者たちに継承させたい。核なき未来への願いを、次代を担う若者たちに継承させたい。この強い思いで「あの夏の絵」を上演します。

本企画の開催にあたりましては、多くの関係各位の賛助により、この企画は実現になりました。ここに心からの御礼を申し上げます。最後は、楽しんでいただけたら幸いです。

あつたごちわさいます。



神奈川文化プログラム認証事業/小田原市市民活動応援補助金交付事業/小田原市戦後 80 年事業認定

後援：神奈川県、小田原市、高尾橋市、中井町、大井町、松田町、山北町、鶴岡町、橋本町、真鶴町、湯河原町、神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、高尾橋市教育委員会、中井町教育委員会、大井町教育委員会、松田町教育委員会、山北町教育委員会、加茂町教育委員会、橋本町教育委員会、真鶴町教育委員会、湯河原町教育委員会、株式会社タウンニュース社小田原支社

主催：「あの夏の絵」小田原上演実行委員会/エコリック



- 神奈川土建西相支部 / 小田原ガス株式会社
- フロンティア1株式会社 / 株式会社神奈川機関紙印刷所
- 井上酒造株式会社 / (一社) フォーギブネスワロムヒロシマ
- 合同会社小田原かなごてファーム / キッチンかぶら / わはな座
- 湘南生活クラブ生協城下町 commons / 鴨宮歯科医院
- ポラシティアグループ・ウェイダーズ / さよなら原発小田原
- Green People's Power / ラテンアメリカキリスト教ネット
- 樋口英明 (元福井地裁裁判長)
- 近藤恵 (二本松堂農ソーラー株式会社代表)
- 小原浩靖 (映画監督)
- 依田真美 / 沖田忠子 / 和食雅子

この他、匿名希望の方からの協賛・カンパも多数頂きました。実行委員一同、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました！

この劇が生まれるきっかけとなった、広島市立基町高等学校の生徒と被爆者との共同制作による「原爆の絵」については、「広島平和記念資料館」のサイトにて詳細をご覧ください。作品リストには、画像と丁寧な解説が一点一点記録されています。二度と悲劇を繰り返さないために、ご家族やご友人と共有してご覧になってみてください。

「原爆の絵 基町高校」で検索！



小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	かもフェス ～出会いを楽しむ大忘年度会～
団体名	かもフェス実行委員会
事業の内容	<p>鴨宮北口商店街にて、「鴨宮暮らしを楽しもう」をコンセプトとしたイベント『かもフェス』を開催。地域の商店の出店や子どものあそび場等を設け、参加者がゆっくり楽しめる暮らしのイベント。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：2026年3月20日 11時～17時</li> <li>・鴨宮北口商店街の一部を車両通行止めにして開催</li> <li>・地元商店の出店／暮らしに密着した商品の出店販売／子どものあそび場／休憩・飲食スペースなどを設置（入場無料・出入り自由）</li> <li>・ターゲット：近隣地域に暮らす子育て世代／高齢者世代</li> </ul>
事業の成果	<p>今回のイベントで、今後のイベント開催を継続するための地域との関係性（参加店舗や地域の商店会など）が構築できた。</p> <p>イベント当日は、雨という天候の中、普段は静かな商店街が人々の活気に溢れ、にぎわいのある鴨宮の暮らしの風景を創り出すイベントになったと考える。</p> <p>来訪者は、子育て世代が中心であった。一方で、自力で行った昨年のイベントの時には見られた高齢者世代が多くはなく、雨の影響が響いたと感じる。また、滞留という点でも、自力開催の時と比べると、雨の中でゆっくり過ごすことにはつながらず、課題を感じた。</p> <p>このイベントを今後も継続していくことで、商店街の活気がある風景が定期的に創出でき、これからの時代に価値のある商店街の風景として継承していくことはでき得ると成果を感じた。</p>
今後の事業展開	<p>今後もこの春のイベントを毎年継続することで、地域のイベント事として多くの人に定着されるよう活動していく。</p> <p>また、春のイベントとは異なる内容のイベントを実施し、かもフェスの年間イベント回数を増やすことで、かもフェスの応援者・協力者・参加者の輪を広げていくことを検討する。</p> <p>イベントの実施を積み重ねることで、将来的にはかもフェスの紹介を兼ねた鴨宮散策マップを作成することを目指す。</p>



様式第13号（第13条関係）

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
小田原市市民活動・協働応援制度補助金	52,000	
協賛金	17,366	地元商店・イベント出店者の参加協賛金
収入合計	69,366	

2 支出の部

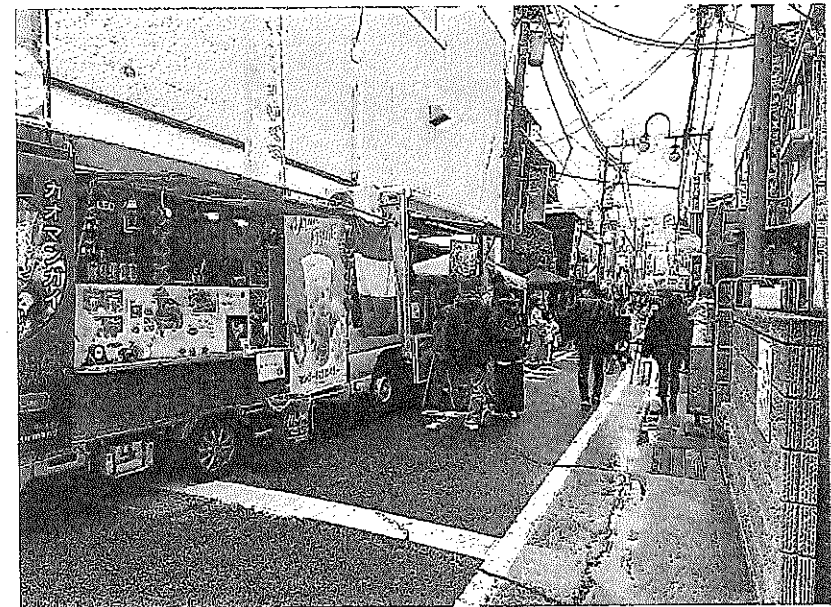
(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
チラシ作成	40,980	A4片面チラシデザイン制作 15,000円 A4片面案内マップデザイン制作 15,000円 A4片面チラシ印刷×500枚 2,690円 A4両面チラシ印刷×600枚 4,090円 チラシ印刷代 4,200円
消耗品	28,386	レジャーシート、ゴミ箱用段ボール、ウェットティッシュ、ボックスティッシュ、ゴミ袋、マスキングテープ、電池（単三・単四）、ポイントシール、カラー水性ペン、チョーク、サインペン、赤ちゃん用手口ふき、ペーパータオル、万能コンテナ、ペン立て、マイクスタンド、マイク・スピーカーセット、カラーコーン
支出合計	69,366	

活動の様子①



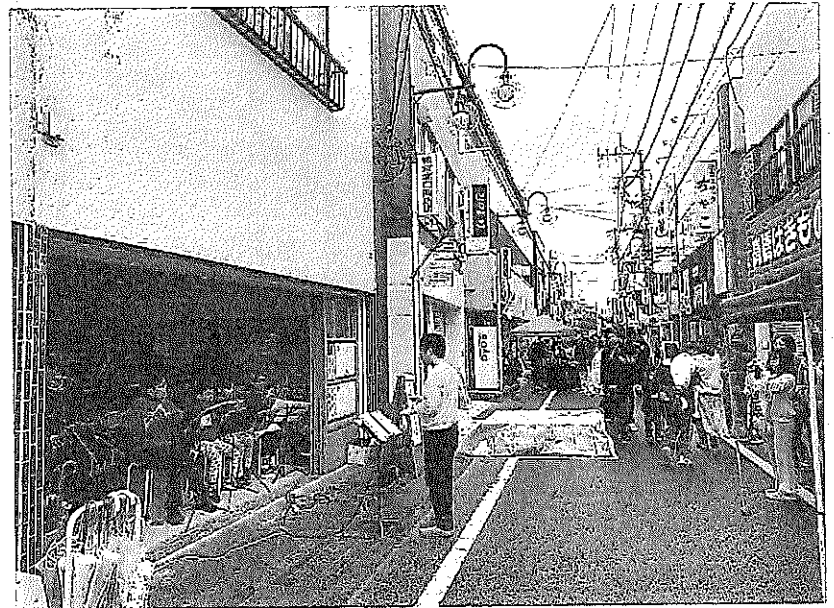
活動の様子②



活動の様子③



活動の様子④



活動の様子⑤



活動の様子⑥



食べ・飲み・出会いを楽しむ 大忘年会!

# かもフェス

kamonomiya life festa

2026

3/20

11:00~17:00

鴨宮北口商店街



7-7 ショップ  
ステージ

あそび場  
本

ビール  
おそうざい

パン  
おかし

雑貨  
コーヒー



赤  
茶  
エ  
リ  
マ

※交通規制のお知らせ  
9:00~19:00の間、上記エリアは  
車両通行止めになります。ご協力お願いします。

出店&ステージ  
くわしい情報は  
こちら!



check!

かもフェスって?  
「鴨宮暮らしを楽しもう」をコンセプトに、  
鴨宮をもっと魅力的なまちにする  
みんなが楽しめるお祭りイベントです。

令和7年度小田原市民活動・協働応援制度補助金交付事業  
主催:かもフェス実行委員会 問い合わせ:かもすた(小田原市役所14-5)



2026  
3/20  
11:00~17:00



出店&ステージ  
くわしい情報は  
こちら!



※雨天の場合、内容の変更が生じますことをご承知ください。

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 布小物 R*iro [製作雑貨]               | 15 駄菓子くろやなぎ [駄菓子]                |
| 2 awo [カフェ居酒屋]                   | 16 小田原市森林組合 [丸太切り・木製品]           |
| 3 ハクジュプラザ [ヘルスロン体験]              | 17 Recovery and Reload [ジビエ・皮製品] |
| 4 九州魂 [居酒屋]                      | 18 ひとさじマーケット [物販]                |
| 5 丸登食堂 [居酒屋]                     | 19 身体喜ぶマルシェ [アロマクラフト]            |
| 6 カフェド麗女さん [バー喫茶]                | 20 回廊橋 [チーズ・饅頭・後むすび]             |
| 7 La Perle [エステ・組紐展示]            | 21 おだわら児童館 [ミニ緑日]                |
| 8 清水屋 [居酒屋]                      | 22 サマサマテッド [カフェ&バー]              |
| 9 酒蔵栄太 [居酒屋]                     | 23 TB MART [アジア食品]               |
| 10 鴨蔵 [居酒屋]                      | 24 グッドモーニングオダワラ [パン]             |
| 11 CORISU CAFE [クレープ]            | 25 Casa pizza [ピザ]               |
| 12 Square coffee roasters [コーヒー] | 26 gourmand [カオマンガイ]             |
| 13 万福 [うどん]                      |                                  |
| 14 Earth Kitchen [カレー]           |                                  |

…商店街店舗 …鴨宮応援隊 …キッチンカー

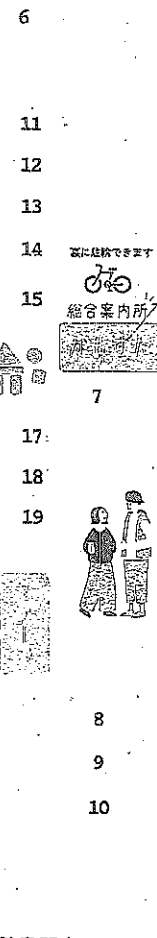
※トイレは旗のローリーの公衆トイレか  
かもすた内トイレをご利用ください。  
※おむつ替えスペースとしてかもすた2Fを  
ご利用できます。お気軽にお声掛けください。  
※スタッフが写真撮影し、SNS等に掲載させて  
いただきます。

鴨宮駅↓

11:30- かもめ 出張図書館 小田原市立中央図書館 (かもめ図書館)	13:00-13:30 15:30-16:00 絵本ペアレントインギ 親子教室	11:30- 木育講座 小田原市森林組合 食育講座 Recovery and Reload ミニ プレイ のり のり	12:30- 小さな吹奏楽の演奏会 小田原市吹奏楽団の演奏会	13:30- シネマタイムパフォーマンス チンドン	14:30- えほん de かもすた おだわら児童館	15:30- uf mami no uwa no uwa NANA NANA NANA 絵本パフォーマンス親子教室
--	--	--	--------------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--

かもすたのシェイク屋さん  
生チョコの販売  
おまかせパフォーマンスタ  
木の葉ガラポン  
ひのき玉ボール  
積み木  
木の葉ガラポン  
ルールズ

↑巡礼街道



問い合わせ:かもすた(小田原市役所14-5)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	福祉キッズフェスタ in 小田原
団体名	任意団体 県西スマイロネット
事業の内容	<p>(1) 福祉機器体験展示                  (2) 講演会                  演題:『「たのしい」「できた」を広げる支援機器発明&amp;活用ストーリー』                  講師: 廣瀬元紀 氏 (OGIMO テック開発室; 重症心身障害児の父)                  (3) 物販コーナー (地域福祉事業所)                  就労継続支援事業所等による授産品販売 (クッキー、陶器、雑貨等)</p> <p>医療的ケア児および発達に支援が必要な子どもとその家族、支援者、地域住民を対象に、福祉機器体験、ワークショップ、講演会等を実施した。多職種・企業・福祉団体 22 団体が出展し、来場者が実際に機器に触れながら学べる体験型イベントとした。</p> <p>当初、本事業の会場は、小田原アリーナを予定しておりましたが、支援が必要な子どもやご家族の来場環境を再検討した結果、川東タウンセンターマロニエへ変更となりました。</p> <p>また、講演の講師ですが、当初はシンポジウム形式で 4 名の講師登壇を予定しておりましたが、内容の統一性および参加者へのわかりやすさを考慮した関係で単独公演形式に変更しました。これに伴い、講師料 1 名分 (50,000 円)、交通費 1 名分 (新大阪⇄小田原 往復 30,000) として支出しております。</p>
事業の成果	<p>総来場者 370 名 (事前登録 164 名、当日 206 名) が参加し、当事者児・者 110 名 (医療的ケア児・者を含む)、当事者家族 204 名、支援者 56 名と、当事者と家族の参加が多数を占めた。出展 22 団体、ボランティア 37 名が参画し、医療・福祉・教育・企業・市民が連携する地域協働の場を形成することができた。</p> <p>体験を通じて子どもの可能性を実感したとの声や、地域資源を知ることによって安心につながったとの意見が寄せられ、当事者支援と福祉理解の促進に寄与した。また、出展団体間の新たな連携が生まれ、継続的な地域支援の基盤づくりにつながった。</p>
今後の事業展開	<p>継続開催により、医療的ケア児を含む当事者が安心して参加できる地域イベントとして定着を図る。参加者区分の把握や相談内容の整理を行い、ニーズに応じた企画内容へ発展させるとともに、学校・行政・医療・福祉機関との連携を強化する。将来的には、地域内の支援資源を結ぶプラットフォームとして機能させ、切れ目のない支援体制の構築に寄与していく。</p>

様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

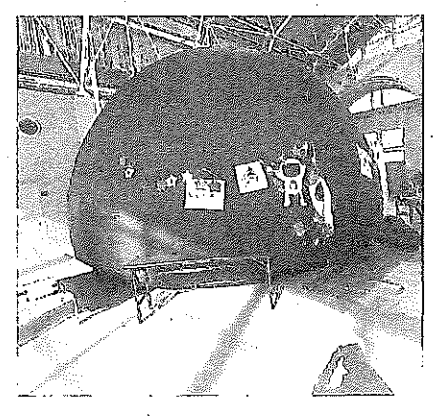
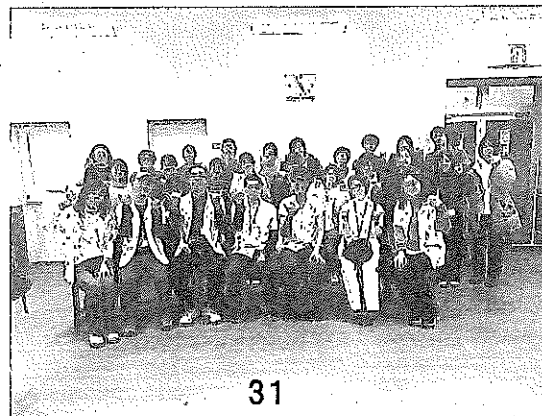
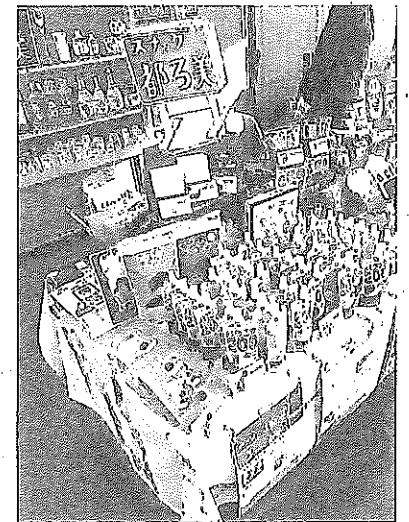
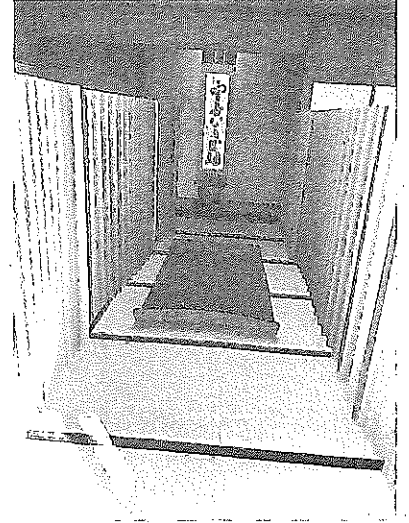
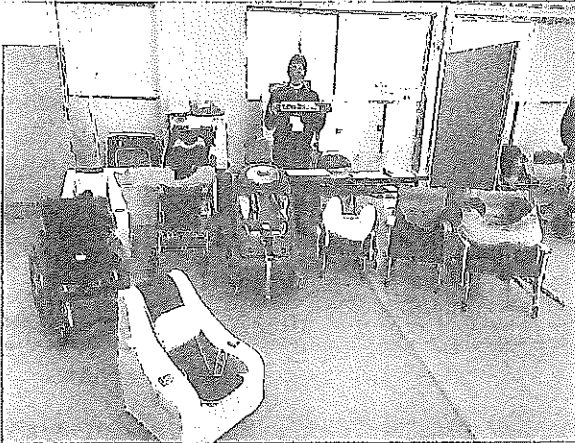
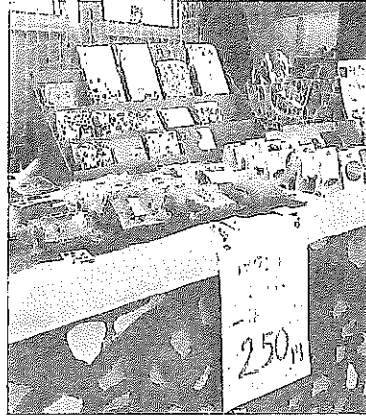
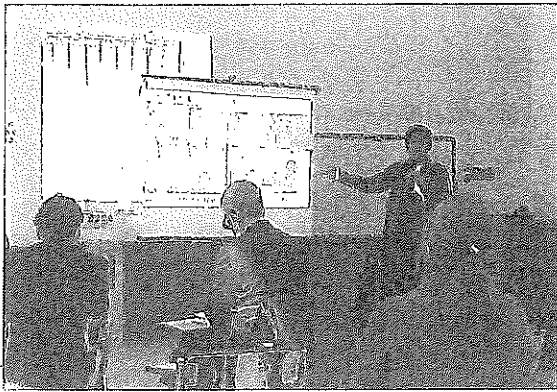
科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
助成金	100,000	小田原市市民活動・協働応援制度補助金
協賛金	170,000	出展13団体からの協賛金
出展料	9,000	物販参加3団体からの出展料
自己資金	100	自己資金
収入合計	279,100	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
会場費	113,850	マロニエ施設使用料(基本的に当日のAM・PMのみ使用。それ以外は特記あり) 【貸室使用料】(201号室6,950 前日PM・夜間も使用)(203号室5,250)(204号室2,750)(206号室2,250)(301号室7,750 当日PMのみ)(美の創作室9,250)(和の部屋1・2 6,750)(ふれあいひろば8,000)(マロニエホール52,500) 【器具使用料】(講演台200)(レセプションテーブル6,000)(拡声器1,200)(テント1,200)(プロジェクター1,000)(パーテーション2,800)
	2,200	貸会議室使用料(2時間30分)
外部講師	50,000	講師料(講師1名分)
	30,000	交通費(講師1名分 新大阪(大阪市内)⇄小田原 往復)
チラシ印刷	9,806	チラシ・ポスター印刷
消耗品費	50,974	ネームホルダー、事務用品、衛生用品、マット
その他の支出	16,950	賠償責任保険(対人・対物賠償)
	5,320	傷害保険(行事参加者の方のケガの保険)
支出合計	279,100	

当日の様子



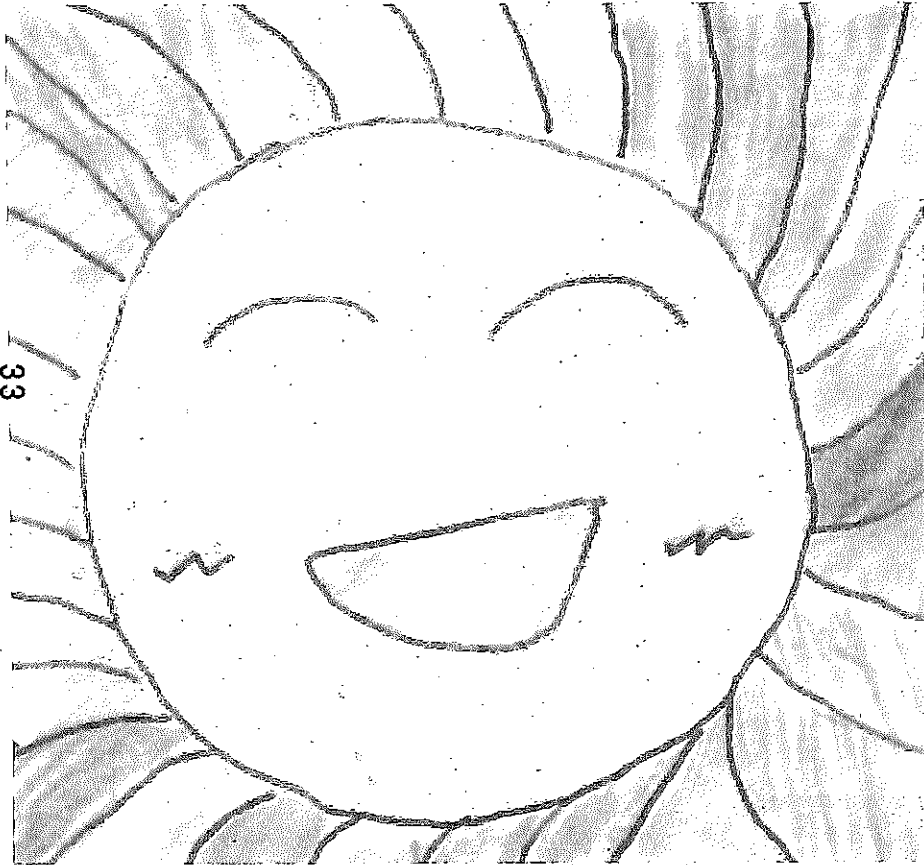


2 県西キッズフェスタ

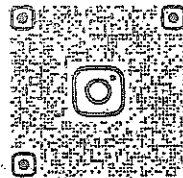
主催: 県西スマイロネット

# のって! さわって! あそんで! 福祉体験ワールド2026

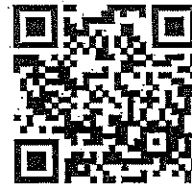
～地域の笑顔を未来に広げよう～



Instagram: 県西スマイロネット →



@SUMAIRONET



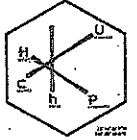
←皆さんの声が今後もイベントを継続していくために必要です。  
アンケートにご回答をお願いします。

# 出展企業・施設・学校紹介

## 【物販】



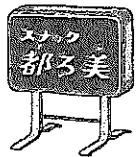
○アール・ド・ヴィーヴル  
オリジナル作品の販売



○障がい者支援センターかのん  
利用者さんと作成した作品の  
販売



○パン工房ジョイ  
利用者さん手作りパンの販売



○スナック都ろ美  
食事支援（えんげ調整食）に  
関する商品の販売



○一般社団法人Link heart  
利用者さんと作成した作品の  
販売



神奈川県立  
小田原支援学校

○神奈川県立小田原支援学校  
生徒さんが作成した作品の  
販売

## 【体験（車椅子関連）】

MONGO  
DESIGN

木村義肢  
工作研究所

SHOWA



東名フーズ株式会社

WEINS  
ウエイストヨウ 神奈川

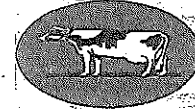
- 車いす
  - 電動車いす
  - 座位保持装置
  - バギー
  - 歩行器
  - カーシート
- 等の展示、体験

車椅子、バギー  
の無料点検も  
あります！



○ラックヘルスケア株式会社  
感覚統合グッズの展示

## 【体験（その他）】



○牛乳石鹼共進社株式会社  
ポータブル洗髪デバイスセット  
『SUSUGU』の紹介・体験



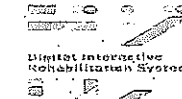
○株式会社アネビー  
インクルーシブ遊具の体験



○一般社団法人星つむぎの村  
出張プラネタリウムの体験



○株式会社ライフハック  
意思伝達装置、視線入力装置等の  
体験



○株式会社デジリハ  
デジタルリハビリツールの体験



○OGIMOテック開発室  
発明品の展示  
『講演：13:30～/集会室301』



○無限アート  
スヌーズレンの体験



○一般社団法人Link heart  
カラフルうどん作りの体験



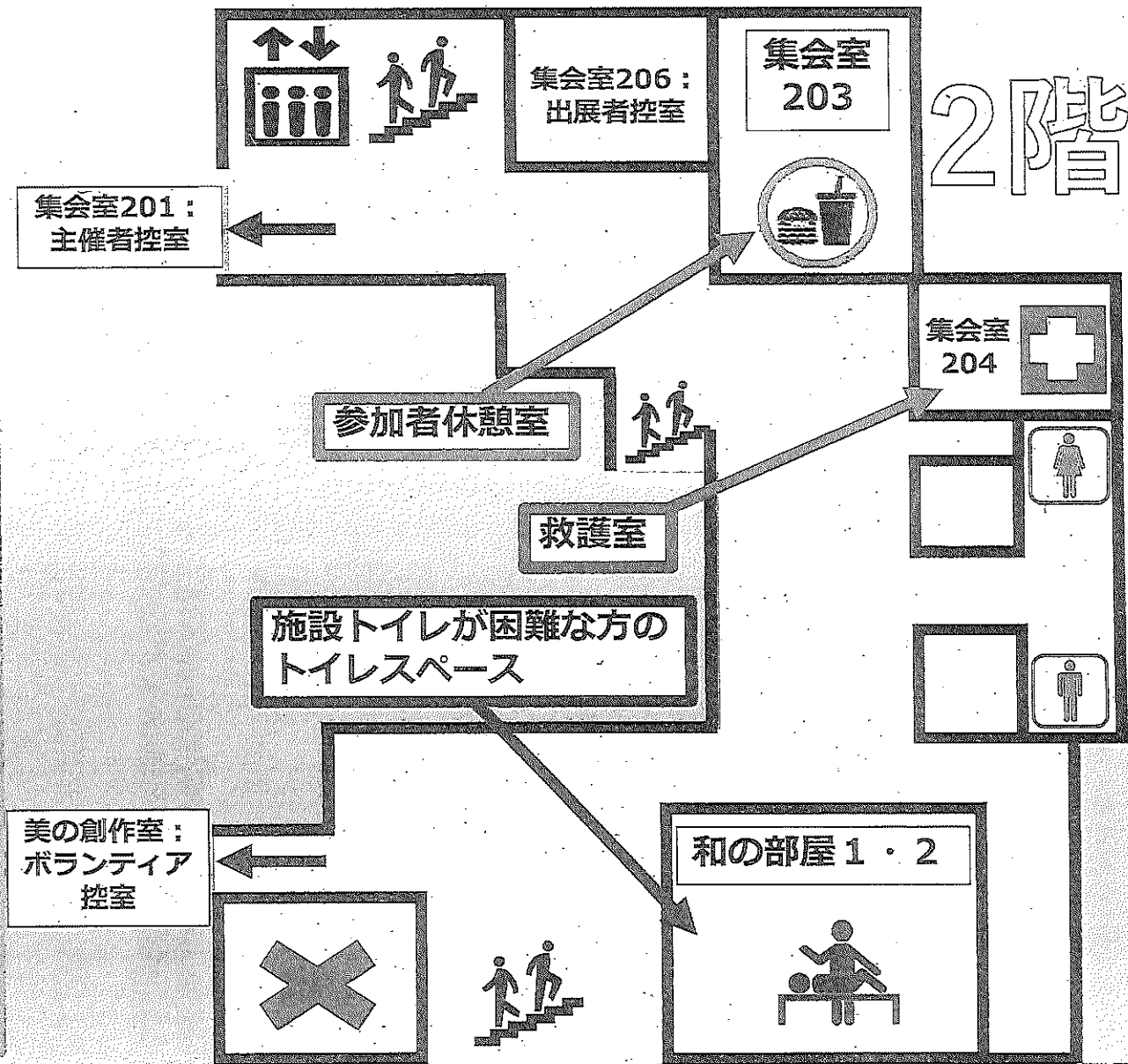
湘南工科大学  
SHONAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY

○学校法人湘南工科大学  
学生さん開発の、特別支援  
教育の教具、遊具の体験

# ご案内

- ・3階ホール前で受付をお願いします。
- ・飲食は、2階「集会室203」3階「ホール内の飲食スペース」をお願いします。  
※廊下空きスペースでも飲食可能ですが、イベント参加者以外の一般の方へのご配慮をお願いします。
- ・ゴミは持ち帰りをお願いします。
- ・救護室は2階「集会室204」にあります。お怪我等ありましたら遠慮なくどうぞ。
- ・トイレは2, 3階にあります。施設トイレが困難な方は、2階「和の部屋」をトイレスペースとしてご利用可能です。
- ・3階ホールで展示、体験、物販があります。
- ・1階ふれあい広場で、電動車いすの体験が可能です。

・講演「「たのしい」「できた」を広げる  
支援機器発明&活用ストーリー」  
講師：廣瀬元紀氏 OGIMOテック開発室  
時間：13:30～14:30 場所：3階集会室301

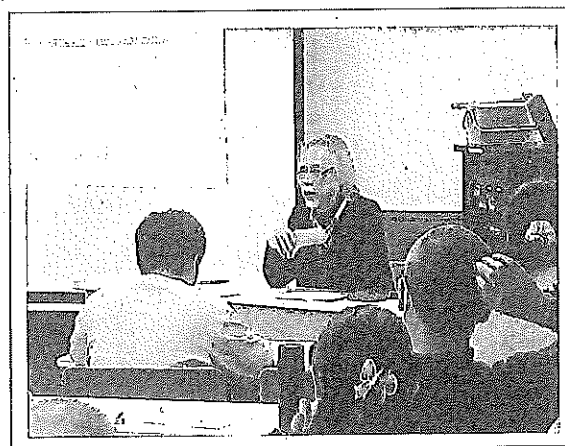
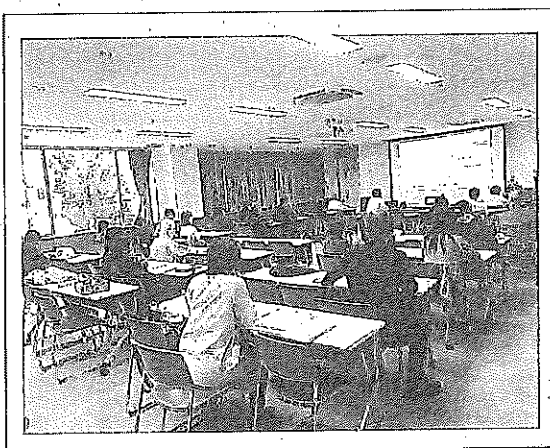




小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業成果報告書

事業名	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー
団体名	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原
事業の内容	<p>障害のある子の「親なきあと」相談室小田原は、障害のある子のご家族の悩みや相談の内容に対してワンストップで解決の方向をご案内する活動をしていきます。令和7年度は、特定非営利活動法人遊悠楽舎 代表理事の明石 紀久男さんをお招きしてセミナーを催した。また、年度内に数回のミニセミナーを実施。</p> <p>①ミニセミナー 場 所：おだわら市民交流センター 概要(内容)：5月9日(金)「人手不足の時代、障害者の「はたらく」をサポート」講師：障害者支援センターばけっと 主任、狩野吉伸 7月11日(金)「就労移行支援事業所について」講師：就労移行支援事業所 My Piece おだわら 代表理事 穂山双葉 9月12日(金)「相続と遺言について」講師：司法書士 守屋智義 10月10日(金)「成年後見制度を学ぶ～相続を見据えて～」講師：行政書士 中條尚 2026年：1月9日(金)「財産の相続と管理の対策」講師：行政書士 長尾影正 3月13日(金)「障害年金更新のポイント」講師：小西一航 社会保険労務士 精神保健福祉士</p> <p>②セミナー 実施時期：令和7年11月9日(日) 場 所：おだわら市民交流センター 概要(内容)：特定非営利活動法人遊悠楽舎 代表理事の明石 紀久男さんをお招きしての講演</p>
事業の成果	<p>障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知をはかることが目的とした。セミナー参加者は次のような意見があった。お話の中で、「否定することではなく、肯定すること・認めていくことだろう。」「認められることによって、リラックスできるし、安心できる」、「責められて不安になれば、気持ちも縮こまれば心も狭くなる」といったお言葉が、身に沁みました。私の場合は、「子どもを認める、そして親御さんも自由になる」「親御さんが安心しないと子供は安心しない」との内容を実践すれば(具体的には、私の家庭での緊張感が解ければ)、少なくとも子供から見た家庭での居心地は、改善するかな、と思いました。地域の中で、障害者や障害を持つ方の家族の相談</p>

	<p>場所として、障害のある子の親なきあと相談室小田原の周知をはかることができた。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>令和7年度に、小田原市の市民活動応援補助金の助成を受けまして、年に1回の本セミナーと年数回のミニセミナーを継続的に運営実施していくことで、相談室の周知を図っていくことができました。本セミナーは、講師の言葉に共感したことは、学校教育が崩壊している、新自由主義的な考えに人々がはまってしまっている。コストパフォーマンスのことばかり気にしている。大人の不安が子供に影響を及ぼしている。働くことが当然である。ボランティア・家事をしている価値もある。生産性が高いかどうか考えてしまうのはおかしい。孤独だと頼れるものが家族だけ。現在の社会で親子関係や他者との関係において、対話と相互理解が不足しており、否定的な言葉が多用されていることを指摘した。講師は、引きこもりや不登校を選択する若者が実際には勇気のある行動を取っている可能性があるとして述べ、現在の社会的状況が家族関係に与える影響について深刻に考慮する必要があると強調した。弱さを乗り越えることの実には貴重で大切なものであることを強調し、強くなることの真の意味は、弱さを認められるようになることというメッセージはとても参加者に響いたと考えます。障害のある方とその家族、支援者が生きづらくない社会を作っていくことは、すなわちすべての人が生きづらくない社会を作っていくことにつながっていきます。社会が、温かく、優しい社会になることを願っています。障害者を他人事としてとらえるのではなく、自分のこととしてとらえられる人々を増やしていきたいと心から思います。</p>



様式第13号(第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
セミナー参加費	35,391円	セミナー参加費会場 26人×990円、 ZOOM参加 11名(9,651円)
ミニセミナー参加費	17,000円	34人×500円
補助金	160,000円	市民活動・協働応援制度補助金
自己資金	36,722円	
収入合計	249,113円	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳(数量・単価など)・備考
チラシ印刷	5,400円	チラシ2,200部プリントパック
チラシ印刷ミニセミナー	2,510円	チラシ1,000部プリントパック
ポスター印刷	14,280円	ポスター400部プリントパック
デザイン制作	20,523円	デザイン制作・相談料 ココナラ
チラシ郵送料	46,545円	切手代・レターパック代
レジュメ印刷	0円	
宣伝費	66,000円	タウンニュース
講師謝礼	60,000円	明石紀久男氏へ
会場費	21,700円	UMECO 会議室1~3・プロジェクター等使用料と ミニセミナー
消耗品	12,155円	文房具等 インク
支出合計	249,113円	



親なきあとに必要なこと  
どう備えればいいのか？

ZOOM参加も可能です

開催日の2日前までにお申し込みください

2025  
5/9  
(金)

人手不足の時代、障害者の  
「はたらく」をサポート

障害者支援センターほけっと 主任 狩野吉伸

2025  
7/11  
(金)

就労移行支援事業所について

就労移行支援事業所 My Pieceおだわら  
代表理事 猫山双翼

2025  
9/12  
(金)

相続と遺言について

司法書士 守屋智哉

2025  
10/10  
(金)

成年後見制度を学ぶ  
～相続を見据えて～

行政書士 中塚尚

2026  
1/9  
(金)

財産の相続と管理の対策

行政書士 長尾彰正

2026  
3/13  
(金)

障害年金更新のポイント

小園一航 社会保険労務士 精神保健福祉士

詳細

時間：10時30分～11時45分

場所：おだわら市民センターUMECO

オンライン(ZOOM)での参加もOK

人数：先着10名

料金：500円(資料代)



ご予約は  
こちらから



# 障害のある子どもの『親なきあと』 ミニセミナー2025

主催：『親なきあと』相談室小田原

お問い合わせ  
0465-46-6800  
(平日10時～18時)

# 不登校・ひきこもりへの 対応について 一緒に考えましょう

～親をおりるとは～

参加お申込



会場参加はコチラ  
(グループ話し合いあり)

ZOOM参加はコチラ



講師

NPO法人 遊悠楽舎 代表理事  
明石紀久男さん

開催日時：2025年11月9日(日) 14:00～16:30(受付13:30～)

場所：おだわら市民交流センター-UMECO会議室1-2

参加費：990円

どなたも参加  
できます。

UMECOアクセス ▶▶



## 明石紀久男さんのプロフィール

1999年「不登校児童やひきこもり者」とその家族の相談開始し、フリースペース遊 悠楽舎開設。横浜市の若者支援施設で  
居場所づくりと相談員を務め、内閣府のモデル事業「パーソナルサポートサービス(横浜市)」に参加。一般社団法人インク  
ルーションネットかながわで代表理事も務めた。  
現在は鎌倉市にて、ひきこもり支援指導員、「子ども家庭センター」と「女性のための相談窓口」のスーパーバイザー、同  
社会福祉協議会の「應用的相談支援体制整備事業」アドバイザー、社会福祉法人さしる社会事業会理事を務める。  
心理カウンセラーであり、孤立して(させられて)いる家族全体を幅広く応援するソーシャルワーカーとして活動が続けてい  
る。2021年3月『親をおりる』(彰文社)を出版。

主催者 「親なきあと」相談室小田原  
〒260-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-4ハビネス杉山305  
TEL:0465-48-6300 mail:tsuyashoko.2017.m@outlook.jp

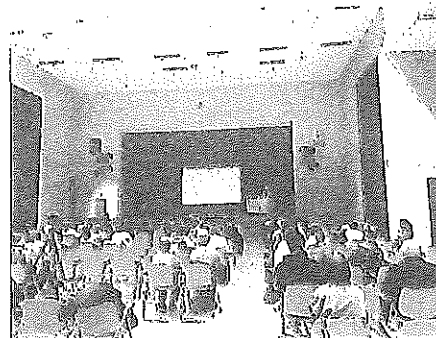
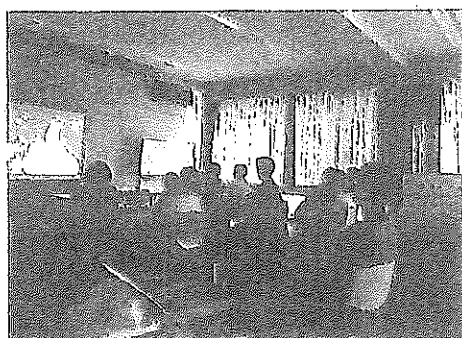
ホーム  
ページ



神奈川県立青少年センター、小田原市、小田原市教育委員会、小田原市社会福祉協議会 後援  
令和7年度小田原市市民活動・協働応援制度補助金交付事業



事業名	子どもの教育環境についての啓発活動「ゆめパのじかん」上映会 & 講演会
団体名	トーキョーコーヒー鴨宮 with ゆりゆりルーム
事業の内容	<p>・「ゆめパの時間」映画上映会と茶話会 2回開催                  参加者：55人                  参加費：500円                  実施場所：社会福祉法人宝安寺社会福祉事業部「むすび処茶のまある」                  川東タウンセンターマロニエ 会議室                  大井町生涯学習センター                  小田原市生涯学習センターけやき <u>計4回上映</u></p> <p>・フリースペースえん創始者 西野博之氏の講演会                  参加者：73人                  参加費：1000円                  実施場所：小田原市生涯学習センターけやき</p>
事業の成果	<p>今回の啓発活動にあたり、教職員の方々にもぜひご参加いただきたく、招待状とお手紙を添えて各小中学校へ配布いたしました。「子どもにとって良い環境」をつくるには、学校・家庭・地域・行政という四つの主体による協働が不可欠です。</p> <p>激動する社会・経済情勢は、家庭や地域にも大きな影響を及ぼし、そこで育つ子どもたちの心理にも少なからぬ影を落としています。その結果、不登校の児童生徒数は年々増加しており、喫緊の課題として全国的に認識されています。</p> <p>今回の西野博之氏による講演は、長年不登校の現場に携わってきた知見を共有することが主題でした。映画『ゆめパの時間』の上映会と効果相乗し、教職員や行政がこの課題にどう向き合うべきか、そして子どもだけでなく誰もが生き生きできる社会をどう築くべきか、多くのヒントが提示されました。</p> <p>講演のアンケート集計結果を添付いたします。ぜひご一読いただき、今後の取り組みの一助となれば幸いです。</p>
今後の事業展開	<p>今後は、それぞれの団体で、身近な方々のケアに重点を置きながら活動し、不登校児童生徒の家庭が孤立せずに、希望を見出すことができるような支援をしていきたいと考えています。</p>



小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

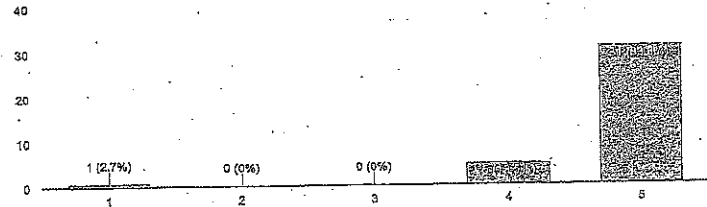
科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1 事業収入	34,700	映画上映会 500 円×55 人、パンフレット販売
	58,000	講演会 1,000 円×58 人（ボランティア 15 名：0 円）（計 73 人）
2 補助金	150,000	市民活動・協働応援制度補助金
3 自己資金	347	
収入合計	243,047	

2 支出の部

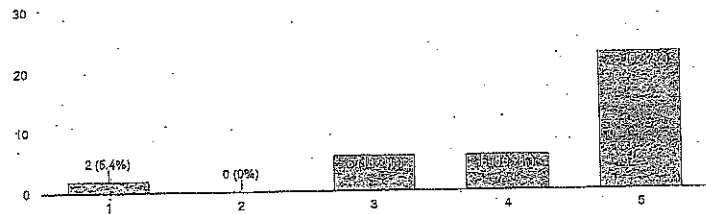
（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1 会場費	39,160	けやき、マロニエ、大井町学習センター
2 映画上映費	90,040	上映 2 日分、上映作品 DVD 返却送料
3 宣伝広告費	27,650	チラシ代ほか
4 講師謝礼	69,853	講演会謝金
5 交通費	3,120	講師交通費（1,560 円×2）
6 交際費	6,506	講師接遇用のお茶代ほか
7 消耗品	1,718	上映会開催にあたって必要となったもの（紙コップ、クリアファイルほか）
8 補助金返還金	5,000	
支出合計	243,047	

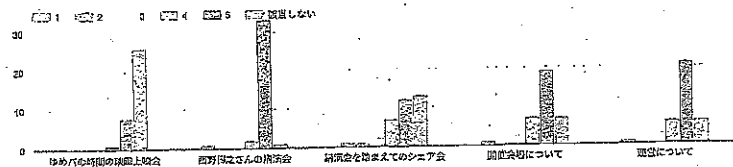
1.今回の企画は、「自分らしく生きる力を育む」ことについて、考えられる機会となりましたか？  
37件の回答



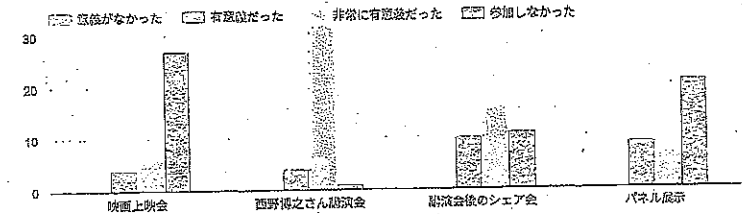
2.ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分はありましたか？  
37件の回答



3.この企画に関する以下の項目について、どのくらい満足されましたか。



4.どのくらい有意義だと感じましたか？



5.映画上映会について(ご感想等)6件の回答

- ・不登校は、根っこを育てている時間なのかなと思っている。花を咲かせる水をやるのが、大人の役目かなと思います。
- ・そもそも「学校」そのものが、問い直す時期に来ているのではないかとのが、一番心に残った。子ども達の言葉、まず、大人が幸せになってくださいとの事、考えさせられました。
- ・「生きる」ことを感じられる映画でした。大人も、これからの時代必要な場所だと思います。改めて、生きることをもっと楽しみたいと思いました。
- ・ゆめパークの存在を知ることができた。
- ・こんな素敵な場所があったのかとワクワクした気持ちになりました。私も何かやりたい！！と強く思いました。
- ・できた子ども達のその訳が知りたかった。ゆめパは、自分が描いている理想だった。実現化した西野さんのパワフルさ、少しでも見習いたい。

6.西野博之氏の講演について(ご感想等)21件の回答

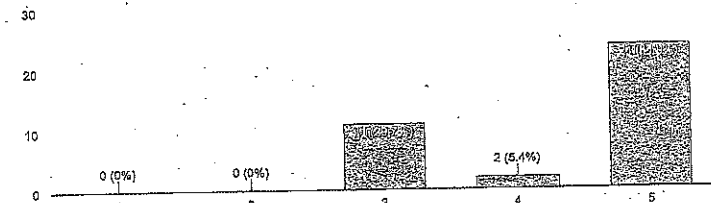
- ・お話を聞いてみたかった西野さんの講演会。とても、楽しみにしてきました。小田原市のチラシもたくさんもらって、小田原は、とても子どもに対してこんなにも動いているのかとビックリでした。小田原、すごい！！
- ・自分自身が学生時代不登校で、現在は子育て中です。不登校当時は、学校に行けるように周囲の大人も自分も頑張れたけれど、結局、うまくいかず苦しい思いをして、今、我が子が同じにならないように、自分と似ているところを心配したり、先回りして、いろいろしていたが、「何とかなる」等、今日のお話で、気が楽になりました。

- ・教員向けに作られていたが、参加者の中にどれだけ教員が居たのでしょうか
  - ・自身が自由に育てられてきて、礼儀だけは、厳しかったので、今でも、それが根付いています。社会に出たうえで、すごく助けられる部分が多く、今日の講演会で親への感謝がより一層、増えました。
  - ・子どもの不登校に対して何ができるのかと、支援の方法について考えていましたが、「支援員」の言葉に笑ってしまいました。子どもの存在そのものをそのまま受け入れて、子どもの気持ちを尊重し、見守ることが大切だと気が付きました。
  - ・保育士をしています。一斉での活動の際は、子どもを急がすような声掛けをしており、反省しました。自分が子どもだったら、夢パークのような場所は、楽しくて仕方ないと思います。(今でも行ってみたいです) 保育のあり方を見直していきたいです。「なんとかなる」を子ども達へ合言葉にできるように、していきたいです。
  - ・生きる意味を考えさせられました。
  - ・はじめて講演会を拝聴しました。いろいろと学ぶことができました。
- 学校教育に関して、中学生の保護者として、もやもやを考える事が多い中で、改めて、学校教育が変わることが望まれると思いました。
- ・感動しました。子ども、人として見る見方も、もっと「素」にならないといけないと思いました。これまでの知識、経験を捨てて・・・
  - ・子どもに対する温かいまなざしと向き合い方について、改めて、気づかされました。
- 胸にグッとくる言葉がたくさんありました。とってもいいお話、内容もたくさんでしたが、少し、駆け足のように感じたので、もう少し、スピードダウンで聞きたかった。というのが本音です。
- ・「想い」を持続させる・・・西野さんの「命」に対する「想い」の強さは、どこから来るのか・・・素晴らしいかったです。自分にできることをしていきます。
  - ・短い時間の中で、重要なことが知れて、大変有意義でした。日々、慌ただしく生活する中で、周りと同じに、どんどん自分が流されていて、目を覚まさせていただけました。
  - ・いじめや不登校の子ども達、すべての子ども達の場所が広がってほしい。
  - ・いつかやりたい。が、早くやりたいに変わりました。命を救い、生きる喜びを感じられる居場所作りをしていきたいです。
  - ・ありのままを受け入れる西野さんの姿にとっても感動しました。得意な所に光を当てる。
  - ・自分が子どもに関わるときに大切にしている事、不登校の問題に対する考え方は、間違っていなかった。安心しました。一歩ずつ進んで、社会に対してできることも考えていこうと思いました。
  - ・子どもの現状、西野さんの長年の取り組みに、自身が、これから、どう、行動していくのか、考えていきたいと思っています。
  - ・西野さんの経験されたことからの言葉に救われた気持ちがしました。大人が幸せであることの大切さを改めて、感じました。

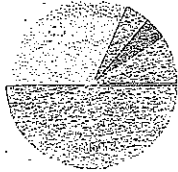
## 7. シェア会について(ご感想やご意見等)11件の回答

- ・シェア会ができるのも、とても良い試みだと感じました。
  - ・各団体の紹介は、休憩時間の間にも、BGMの代わりに流してほしい。
  - ・皆さんのお考えや経験談をたくさん聞くことができ、自分の視野が広がった気がしました。いろいろな人の話を聞くことで、子どもへの関わり方も変わると思いました。
  - ・地球での横のつながりや、どうしたら居場所をもっと増やせるかどうか、話し合いができた。皆さん、大きな夢を持たれた方ばかりで、ちよてもよい話でした。
  - ・より多くの方の感想等を伺えてよかったです。
  - ・いろいろな方向からのご意見をお伺いできて、とても良かったです。
  - ・時間が短かった。もう少し、皆さんからからの情報を聞きたかったです。
- とても有意義でした。それぞれの活動を写真と言葉で講演会中に紹介してもらえると、パなるより、伝わりやすいし、繋がれると思いました。
- ・もう少し時間が欲しかった。
  - ・不登校の子どもを持つ親御さんの想いをシェアできてよかったです。「その子らしく」を大切にするオトンが増えてきていることに感謝する機会を得られた。

## 8. 今後も、子ども達にとって住みやすい地域にするために、話し合う場が必要だと思われますか? 37件の回答



9,8の質問に、「必要である」とお答えの方にお...まって話す場があれば参加したいと思われませんか。  
22件の回答



- ① 参加する
- ② 参加しない
- ③ 参加したいが、いろいろやっていて予定があるので、日にちや時間が取れば参加したい。
- ④ 可能なタイミングがあれば参加したいです。
- ⑤ 仕様がゆるせば、参加したい。
- ⑥ 時間が合う時のみ参加したい。

10,9の質問より、「参加したい」とお答えの方にご質問します。

参加しやすい曜日や時間帯を教えてください。15件の回答

- ・平日の昼 4人
- ・平日 夜 1人
- ・土曜日 昼5人 夜 1人
- ・日曜(祝日) 昼間4人 夜1人

### 〔西野さんへの質問〕

・最後のお話がとても良かったです。「大人が幸せになってください」→子どもは、そういう所で、安心して生きることができます。この言葉は、素晴らしいです。

・食う・寝る・出す 親のできる気配り。これを胸に子どもとの暮らしを楽しみたいと思います。出会いを者にする力、大丈夫を届けよう。ゆる親。まずは、大人が地域の中で幸せでいること。

・大人への支援が必要な時、本人の気づいていない時、支援員がしないアプローチがよいのか？どうしたら気づいてもらえるか。

・福島県大熊町立の「学びの舎 夢の森」をご存じでしょうか？ ミヒヤエルエンデの「モモ」の世界が今を予告していたように感じます。何か、思われること、ありますか？

ゆめぱは、子どもにとって本当に何が必要かを「モモ」のイメージとも重なる場所だと思いました。

・子どもの数は減っているのに、自殺する子、不登校の子が増えているのは、なぜだと思いますか？

・大人の幸せとは、何でしょうか？

・せっかくの機会なので、文部科学委員に伝えておきたいことは、何でしょうか？

・最近、中学校でも数学の時間に練り上がり・下がりの計算が意味だったり、聞く力があまりないのかな？と思う場面がたくさんあります。先ほど、学習指導要領のお話も少しありましたが、西野さんが、今の小学校、中学校に求めることがありましたら、教えてください。 (茶ヶ岡市在住)

・中学生のいじめについて。いじめの事実を知って、周りの大人は、どのように対応していけば良いのでしょうか？「見守る」「ありのままの存在を肯定する」だけで、良いのでしょうか？

・子どもたちのやりたいことをられる場創りをしたいと思っているのですが、資金面の支援等、あるのでしょうか？

・いじめが小学校2年生に一番多いということですが、なぜですか？また、どんないじめ方ですか？ (いじめの内容)

・ぼくも、たまに、すごく怒られて、「ぼくなんて、いなくなればいいのに」と思うことがあります。

〔ゆめパツアーについて〕

①電車でもバスでも参加したい：8人 (家庭)

バスなら参加する：1人 (行きだけバス希望1人)

②費用について 5,000円以下なら参加する：8人 費用に関係なく参加する：2人

## 講演会を聞いた感想、印象に残っている話、言葉

### 1 「大人が幸せであれば子供が幸せ」というのが印象的だった

(解説)

子供権利条約制定の最終段階で子供たちが自分達の意見をまとめて大人に提示してきた話がありました。その中で子供たちが訴えたことが

「大人が幸せでいてください」という衝撃的な言葉。

### 2 「くう ねる だす」だけでいい

(解説)

大人がやらなければいけない事はこれだけ。子供に食事を与え、寝かせ、排泄させる。親は、生きるために必要なこれらを提供できればそれでいいのだ。

### 3 「支援臭に気がつける」

(解説)

良かれと思っての声かけも、「支援してやっている」と匂わす「支援臭」を出してしまうと聞いてももらえないし、むしろ反発されます。

### 4 「人生ゆっくりで良い」「親が幸せであること」

### 5 「なんかかなる」を合言葉にしていきたい

### 6 「小2がいじめのピーク」に驚いた。

7 自分が、「生まれてきてくれてありがとう」から欲が出てきていることに気がついた 8 子どもに内向的などころがあると、自分のように不登校になってしまうのでは？と不安になることがあったが今日の講演を聞いて気持ちが少し楽になった。

9 子供が不登校、自閉症もあり、自分を責めてしまっていたので西野さんのお話で勇気づけられた。

10 夢パークでの「子供の本質を大切にしている教育」を見て自分の子供との関わりに取り入れたいと思った。

11 不登校の子供は「困った子ではなく、困っている子」

12 今はどこでも学べる時代、

「学びたいことを、学びたい時に、学びたいように、学ばせてあげよう」

13 学校教育に携わっている方でも「学習指導要綱なんて廃止してしまえ！」という意見もある。14 「新しい学びの当たり前」を考えてみる。これまでの教育システムのままでは時代に合わない

15 今の教育は一人一人には適応していない。

16 学力とは「出会いをものにする力」  
意見と思い

1 「競争社会からのプレッシャー（学校内でも）」社会が変わる必要がある。2 「子供の存在を一人の人として尊重し対等に関わる。」

3 「居場所を持つことの大切さと難しさ」子供通自身で行ける場所が地域に一つあれば・・・4 親自身が窮屈な中で育ってきている

5 子供一人で外に出るのが難しい

6 ゲームの世界、架空の世界では子供は育たない

### 7 「市民会館跡」をうまく使えないか？(小田原市)

8 不登校をのり超えたその経験が生きる

9 朝にも居場所と経験が必要

10 不登校について

それぞれのケースによってやれる事は違うゆっくり行くのが良いが動きは必要 11 トラブルが起きた時の対策として、見守ることの大切さ(喧嘩を止めない) 12 「普通はこう」という考えを捨てる 一人一人の考え方、この尺は違う。

13 怒りをコントロールするには自分の物差しを捨てる

14 悩んでいる人と繋がるのが難しい

15 教育でも支援でもない場所が必要

16 (川崎夢パークのような) 大きな場所を作るのではなく今ある場所とネットワークを繋げて行くのが現実的

17 少しでもやりたいこと、挑戦したいことを支えていきたい

18 大人もみんなで楽しむ居場所作りが必要

19 不登校の経験から 夢パークのようなところが広がってほしい

20 子どもたちが「やりたい」と思うこと、持っている力を伸ばすことがとても大切だと思った。

21 高校でつまづいた時、親が背中を押してくれ、自由にさせてくれた。礼儀だけ大事と言われ感謝している

22 不登校児がいると、親も孤立し、外に出れなくなる。

23 守られる権利と選ぶ権利が大切だが、選んだことがない子はどうしたらいいかわからない

24 子供は回復する力を持っている。安心できる環境が必要。(大人の安心が大きく影響する) 25 親がいいと思って子供にとっては苦になることもある。

26 学校に行き辛い気持ちはよく分かる。子供達が成長していく過程でどのようにその力を育てて行くか？

27 世代を超えた交流ができる場や時間は素晴らしい。

## 学校、先生について

① 学校が変わることが必要(保護者は訴えていく)

② 学校内に不登校児でもいられる場所が必要

③ 一人一人のケースを見れていない

④ 一斉教育しかできていない

⑤ 発達障害の特性を先生が理解する必要がある

(わがろうとする姿勢と眼差しが必要)

⑥ 小〜中 幼〜小に上がる時にトラブルが多いシステムとしてうまくいっていないと感じる

⑦ 学校の先生もカリキュラムの問題で大変

## ご参加の皆さんについて(ご自身の活動について)

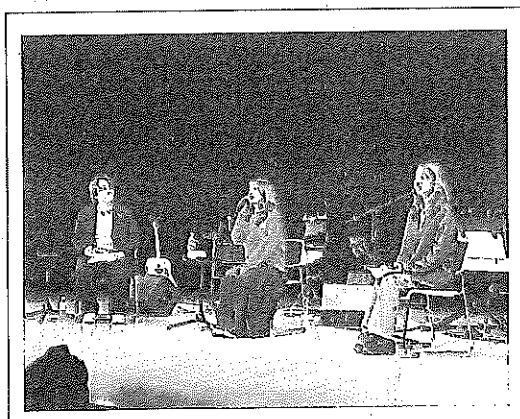
1 駄菓子屋をやっている(運営に子供が関わる)

- 2 プレーパーク、放課後の居場所をやっている
- 3 放課後デイサービス勤務
- 4 居場所カフェ主宰、居場所作りに試行錯誤している
- 5 子ども食堂ボランティア
- 6 小田原で、ふれあいパークのような活動をやっていた。いろんな活動をおすることで、自分の居場所や自信になっていた
- 7 オルタナティブスクール主宰
- 8 不登校児の第三の居場所主宰
- 9 保育園職員
- 10 小学校教師
- 11 平塚子供の居場所 赤ちゃん広場主宰
- 12 トムソーヤの森 声の万華鏡
- 13 MOA 小田原 (小田笑ん会)
- 14 まんま遊〜と
- 15 にないてNPO法人
- 16

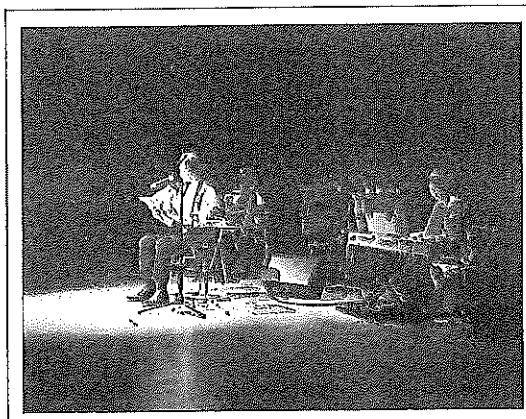


事業名	いじめのない社会へ「いじめストップ!ピンクシャツデー」事業
団体名	ピンクシャツデー小田原実行委員会
事業の内容	カナダの高校生が始め、いまでは世界中に広がっている「いじめ撲滅運動」のピンクシャツデーにちなんだチャリティイベント「いじめストップ!ピンクシャツデー」を、2026年2月21日に小田原三の丸ホール小ホールで開催しました。「いじめをなくそう」という市民意識の向上を促し、さらなる意識醸成、多様性社会、共生社会の啓発を図ることを目的に、トークや音楽、朗読などを通じ、いじめのない社会づくりを啓発。朗読する文章や詩は「いじめのない共生社会」をテーマに公募し、子供から大人まで多くの人に考えてもらう機会としました。
事業の成果	参加者数は約150人。「やさしい気持ちをあなたに」のメインテーマのもと、心を寄せ合う時間を共有しました。来場者アンケートでは55人が詳細な感想文を寄せてくださいました。 トークセッションでは、子供のウェルビーイングをテーマに20代の若者たちが自ら立ち上げた子供サポート活動、助けが必要な人たちへのサポート活動などについて話を聞くことができ、「いじめのない共生社会」へ向けた若い力を感じることができました。 また、作文と詩の公募では、市内の中学校生徒会による応募協力があったことも大きな成果でした。大人からは、いじめられた人の心の声や、赤ちゃん誕生に寄せて1人1人の命の大切さをあたたかい言葉で伝える詩などもあり、たいへん反響がありました。 長時間にわたるイベントでしたが、音響・照明等の技術的支援のもと、円滑な運営ができました。その結果、質の高い充実したステージイベントが実施でき、来場者の満足度向上につながりました。今後も同様に、来場者の満足度の高い心に響くイベントとなるよう、取り組んでいきたいと思っております。
今後の事業展開	次回は2027年2月20日に小田原三の丸ホール小ホールでの開催が決定。いじめについて考える作文と詩の公募を継続し、学校や事業所単位で取り組んでいただけるよう働きかけます。今回、イベント前に中学校や高校を実行委員が訪問し、取り組みに共感していただくことができたので、こうした訪問の機会をさらに増やすほか、イベントとしてUMECOなどでピンクシャツデー啓発の展示を行いたい。市の人権・男女共同参画課との共催も計画しており、実現できれば、トークセッションに人権擁護員や更生保護の仕事に従事している保護司をお迎えしたい。その上で、さらに質の高い内容を目指し、お招きするゲストや講師を選定したいと考えています。

活動の様子 (トークセッション)



(朗読と音楽)



様式第13号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
協賛金・支援金	63,132 円	協賛金 (㈱ういろう、八三財団など9者) および協力支援金 (会場での募金)
市民活動・協働応援制度補助金	120,000 円	市民活動・協働応援制度補助金
収入合計	183,132 円	

2 支出の部

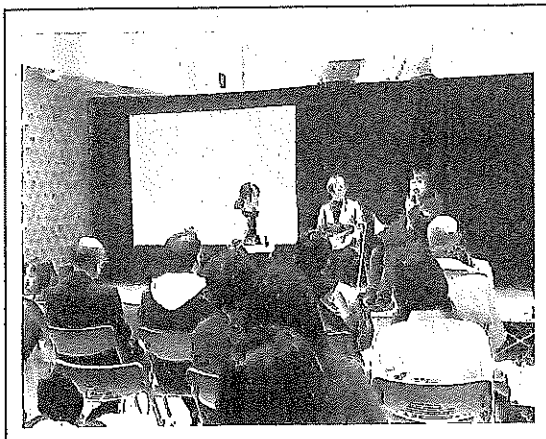
(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
会場費	14,050 円	小田原三の丸 小ホール使用料 11,750 小ホール楽屋G・H・I 使用料 2,300
音響・照明費	70,300 円	マイク、スピーカーなどホール付帯設備 八峯企画 (音響・照明等の運営技術業務、進行指揮)
印刷代	22,175 円	ちらし 4500 部 (プリントバック) 8,650 プログラム 300 部 (同上) 7,830 A3 ポスター 2 枚 (セブンイレブン) 200 プリンターインク代 (Amazon) 5,495
出演者謝礼	30,000 円	出演者謝礼 (合田雅吏さん)
郵送・搬入費	1,830 円	ちらし郵送レターパック、切手代など
事務消耗品費	1,684 円	コピー用紙、ペン、乾電池、養生テープなど
イベント運営費	43,093 円	トークゲスト・ダンスチーム含むメイン出演者 外注者 11 人※の食事代・飲み物・軽食代 (昼食=かぶら、夕食=パルールド) ※合田・式町・尾崎・ダンサー 3 人・飯山・ 加藤・小西・八峯企画 2 人 搬入用駐車場代 (700×2 台)
支出合計	183,132 円	





事業名	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業
団体名	ピンクリボンぷらすODAWARA 女性のがんを考える会
事業の内容	<p>乳がん検診をはじめとする各種がん検診、小田原市内で低迷が続いている健康診断（特定健診）の受診率を向上させ、がんの早期発見・早期治療の推進につなげる目的で活動。乳がん啓発月間の10月20日から29日まで、市民交流センターUMECOホワイエで、乳がん啓発プレストアウェアネスの展示を行いました。</p> <p>11月29日には地下街ハルネ小田原うめまる広場で、音楽演奏やワークショップも交えたイベントを開催。市立病院看護師と市健康づくり課によるクイズ形式の「乳がん検診に行こう」の発表や、がん検診受付ブース、小田原医師会渡邊清治会長や乳がん経験者のトークなどを盛り込み、市民ががんについて知る機会を提供しました。</p>
事業の成果	<p>加藤市長をはじめ多くの方にご来場いただき、カウントできた人数は約330人を超えました。会場配布アンケートには171人が回答。来場者は女性が大半を占め、年齢は30～40代が32%、50～60代が37%、70代以上が22%。このイベントを機に「がん検診を受けたいと思った」という回答が多くあり、実際に市の検診を予約した人が7人という成果がありました。内容の濃い情報提供や、イベントとしての充実度を評価していただくことができました。</p> <p>また、今回は特に子育て世代にがん検診を啓発したいというねらいから、子供のバトンチームのゲスト出演や子供が参加できるワークショップを設置。これらの企画は好評で、家族連れの出場増につながったので、今後のイベントでも取り入れていきたいと思っております。</p>
今後の事業展開	<p>引き続きこの活動を進め、協賛団体・企業の輪を広げつつ、地域コミュニティの中でがん啓発の講演・展示、勉強会などを開いていきたいと考えています。次年度（2026年度）も10～11月に同様の展示とイベントを行う予定です。1人でも多くの方が正しいがんの知識を持ち、自発的・定期的に検診を受け、誰もが日常生活の質をより良く保てるような社会づくりの、一助となることを目指してまいります。</p> <p>市のがん検診の対象とならない40歳未満の若年層にも、今まで以上に働きかけ、がんの知識啓発と、40歳になったら必ず検診を受けるという意識を持っていただけるよう、また、子育て中の世代には、市の集団検診に子連れでも参加できることなど、あまり知られていない情報・知識も広めていけるように努力してまいります。</p>



様式第13号 (第13条関係)

小田原市市民活動・協働応援制度補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
1 市民活動応援補助金	300,000 円	
2 会費収入/協賛金	48,000 円	年間会費収入と協賛金から運営費・会議費を引いた額
3 役員自己負担金	2,064 円	
収入合計	350,064 円	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
イベント事業費		
1 会場費	0 円	
2 印刷費	79,508 円	ちらし 7,580/ポスター 7,070/印刷カートリッジ 5,800/インク代 5,750/発表ポスター 6,765/タペストリー 5,965/横断幕 22,968/アンケート用紙 1,400 2,620/パンフレット 14,990
3 講師謝礼	21,000 円	医師会長はじめ登壇者と体験ブース講師など4組の謝礼と交通費
4 ゲスト謝礼	91,894 円	音楽ゲスト2組とバトンチーム謝礼と交通費
5 展示備品費	43,320 円	聴診器 (体験ブースで使用) 15,004/ラッピング用品 1,320/バッジパッケージ 297/ポット 8,900/ヘリウムガス 17,799
6 イベント消耗品	43,103 円	缶バッジ+リボン+クリップ+リストバンド 25,519/缶バッジ 4,110/リストバンド 1,399/クイズ景品 12,075
7 事務消耗品費	9,983 円	養生テープ、クリップ、ポリ袋、筆記具等
8 イベント運営費	61,256 円	講師・ゲストお弁当 30,800/出演者飲み物 3,306/機材レンタル代 25,000/当日搬出入駐車場代 750/事前準備駐車場代 1,400
支出合計	350,064 円	

入場  
無料

小田原市健康づくり課  
ピンクリボンふらすODAWARA

2025

# ピンクリボン フェスティバル

乳がん  
検診に  
行こう



大切なあなたのために 大切なあの人のために  
まずは知ってほしい 乳がんのこと がんのこと  
いつも忙しいママだから 今日はお子さんと遊びながら  
自分の体のことも考える日にしませんか!?

## 11.29 ± 11:00-16:30



缶バッジづくり  
からた探検ゲーム  
ママのいやしブース  
検診申し込みブース  
がん相談ブース



HaRuNe小田原・うめまる広場



小田原駅東口 徒歩0分 地下街

### ステージ

- 11:00- ザ・パーリーズ オープニングライブ
- 11:30- 乳がん検診に行こう!  
小田原市健康づくり課 小田原市立病院看護師
- 13:00- かかりつけ医を持とう!  
小田原医師会会長 渡邊清治先生  
ピンクリボンふらすODAWARA代表 前川育  
国際医療福祉大学 谷山まき先生
- 14:00- バトンチームチェリーズ ステージ
- 14:40- 乳がんになったとき  
杉崎ひとみさん  
小田原市立病院看護師 種市あすみさん
- 15:40- わをん LIVE

### ワークショップ マルシェ

ママのいやしブース ヘッドマッサージ  
子供向け からた探検ゲーム  
小児がん支援レモネードスタンド  
缶バッジづくり&プレゼント  
アンケートに答えてくじ引き (景品あり)

### 展示ブース

小田原市健康づくり課 | 乳がん検診予約  
小田原市立病院 | がん相談、ウィッグ展示  
ピンクリボンふらすODAWARA |  
術後入浴着 プレストアウェアネス  
検診に行ってみた



主催 | ピンクリボンふらすODAWARA  
小田原市健康づくり課

後援 | 小田原医師会

協力 | 小田原市立病院 国際医療福祉大学 ケアネットOHMY  
J:COM西湖 湘南電力 湘南ベルマーレフットサルクラブ  
万葉の湯 わをん 小田原ウイメンプラス

お問合せ | 小田原市健康づくり課  
☎0465-47-4724

ピンクリボンふらすODAWARA事務局  
☎070-8490-8968